

目次

I. 八戸市埋蔵文化財センター 是川縄文館 本館	
1. 沿革	1
2. 施設概要	1
(1) 施設の名称と位置 (2) 施設の概要 (3) 主要施設・面積 (4) 建設事業費	
3. 1周年記念事業	2
(1) 学芸員とめぐる是川遺跡ツアー (2) 縄文グッズ抽選会 (3) 是川縄文館1周年記念無料開放 (4) いのるん付おちょこプレゼント (5) 是川縄文館バックヤードツアー (6) 縄文グッズ販売フェア	
4. 事業概要	
(1) 常設展示	3
(2) 企画展示	4
(3) 埋蔵文化財発掘調査	5
(4) 是川遺跡出土品保存修理事業	7
(5) 世界文化遺産登録へ向けた取り組み	7
(6) 是川遺跡の整備活用	8
(7) 教育普及	8
(8) 地域連携	12
(9) 資料収蔵	12
(10) 調査研究	12
(11) 情報発信	14
(12) ミュージアムショップ・喫茶コーナー「これカフェ」	15
II. 八戸市埋蔵文化財センター 是川縄文館 分館(八戸市縄文学習館)	
1. 沿革	16
2. 施設概要	16
(1) 施設の名称と位置 (2) 施設の概要 (3) 主要施設・面積 (4) 建設事業費 (5) 展示改修等事業費	
3. 事業概要	17
(1) 常設展示①(常設展示室) (2) 常設展示②(情報資料室)	
III. 管理運営概要	
1. 協議会	18
(1) 第1回は川縄文館運営協議会 (2) 平成24年度是川縄文館懇談会	
2. 日記抄	18
3. 来館者利用状況	22
4. 八戸市内小中学校利用状況	22
5. 資料利用状況	22
(1) 映像資料 (2) 実物資料	
6. 予算概要	26
IV. 組織・関係団体	
1. 組織及び職員構成	27
2. 八戸縄文保存協会	27
3. 是川文化財愛護会	28
4. 縄文是川応援隊	28
5. 縄文是川ボランティア	28
利用案内	29

I. 八戸市埋蔵文化財センター 是川縄文館 本館

1. 沿革

是川縄文館は是川遺跡、風張1遺跡等の発掘成果をふまえた展示や体験交流等を通して、市民や来館者が地域文化の魅力を再発見し、誇りや愛着が感じられる郷土づくりに資するとともに、埋蔵文化財センターとして市内の遺跡から出土した埋蔵文化財の積極的な公開・活用、適切な保存管理に努め、埋蔵文化財保護の重要性を伝えるための施設である。

- 平成 9年 (1997) : 「是川縄文の里整備基本構想」を策定。
- 平成 15年 (2003) : 「是川縄文の里整備検討委員会」を設置し、基本構想見直し。
- 平成 16年 (2004) : 「是川縄文の里整備検討委員会」が(仮称)是川縄文博物館の建設に向けて建設計画等を検討。
- 平成 17年 (2005) : (仮称)是川縄文博物館の建設用地取得。
- 平成 18年 (2006) : 施設の機能にあわせ、(仮称)是川縄文館と改める。プロポーザル方式で設計業者を選定し、基本設計を実施。
- 平成 19年 (2007) : 実施設計を実施。
- 平成 20年 (2008) : 造成工事を実施し、建設工事に着手。
- 平成 21年 (2009) : 建設工事及び展示設備Ⅰ期工事を実施。
- 平成 22年 (2010) : 展示設備Ⅱ期工事及び外構・駐車場工事を実施。
- 平成 23年 (2011) : 7月 八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館開館(7月10日)。
 八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館条例及び施行規則、組織等規則施行。
 開館記念企画展「八戸の埋蔵文化財」開催(7月10日～9月25日)。
 開館記念講演会「是川遺跡の現在と未来」開催(7月17日)。
 8月 来館者1万人達成。
 10月 開館記念特別展「縄文至宝展」開催(10月15日～11月13日)。
- 平成 24年 (2012) : 7月 開館1周年行事開催(7月7日～7月24日)。
 来館者5万人達成。

2. 施設概要

(1) 施設の名称と位置

○名称：八戸市埋蔵文化財センター 是川縄文館 ○住所：青森県八戸市大字是川字横山1

(2) 施設の概要

- 構造：1階鉄筋コンクリート造+2階鉄骨造
- 敷地面積：13,752.55㎡ ○建築面積：2,602.98㎡ ○延床面積：4,593.82㎡
- 建築基本・実施設計：(株)岡設計 ○展示基本・実施設計及び施工：(株)丹青社

(3) 主要施設・面積 ※床面積 1階:2,408.19㎡ 2階:2,185.63㎡

階	室名	面積	階	室名	面積	階	室名	面積
1F	体験交流室	142.88㎡	1F	館長室(応接室)	36.87㎡	2F	図書閲覧コーナー	91.19㎡
	アプローチ展示	229.53㎡		事務室	79.12㎡		研修室	62.12㎡
	特別収蔵庫	139.49㎡		会議室	51.12㎡		調査記録保管室	39.78㎡
	特別収蔵庫前室	22.70㎡		スタッフルーム	46.51㎡		書庫	133.42㎡
	一般収蔵庫	473.06㎡	器材庫	56.25㎡	研究室		151.13㎡	
	荷解場	104.62㎡	2F	常設展示室	503.01㎡		出土品整理室	143.47㎡
	保存科学室	55.44㎡		国宝展示室	46.60㎡		図面整理室	87.86㎡
	作業室	54.90㎡		企画展示室	178.37㎡		写真撮影室	41.66㎡
ミュージアムショップ	78.59㎡	展示準備室		81.94㎡	ベビーコーナー	4.48㎡		

○駐車場：普通車86台、大型バス6台、障がい者用3台 ○トイレ：2箇所(障害者用含む、職員用除く)

(4) 建設事業費 ※総事業費：2,242,439千円

○基本・実施設計：87,740千円

○外構工事等：189,120千円

○本棟工事等：1,628,434千円

○器材庫建築工事等：50,012千円

○展示工事：287,133千円

3. 1周年記念事業

(1) 学芸員とめぐる是川遺跡ツアー

期日 平成24年7月7日(土)・7月8日(日)

各日①10:00～12:30 ②13:00～15:30

経路 是川縄文館→縄文学習館→中居遺跡→休憩→
一王寺遺跡→是川遺跡記念碑

参加者 31人(全4回)

概要 学芸員が参加者を引率して、是川縄文館(本館・分館)展示室及び是川遺跡の案内・解説を行った。参加者からは、館や遺跡について詳しく知ることができたと好評の声をいただいた。



ツアーの様子(一王寺遺跡にて)

(2) 縄文グッズ抽選会

期日 平成24年7月8日(日) 9:30～17:00

会場 是川縄文館 1F 体験交流室・受付

参加者 56人

概要 日曜日縄文体験コーナー参加者を対象に、縄文是川ボランティア製作の縄文グッズの抽選会を実施した。景品は下記のとおり。

1等：合掌土偶 2等：ミニ合掌土偶 3等：遮光器土偶頭部 4等：縄文土器 5等：ペンダント



抽選会の様子

(3) 是川縄文館1周年記念無料開放

期日 平成24年7月10日(火) 来館者 325人

概要 館が1周年を迎える日を記念し、無料開放を実施した。平日にも関わらず、多くの来館者からの利用があり、この日に来館者5万人を達成した。

(4) いのるん付おちょこプレゼント

期日 平成24年7月10日(火)

会場 是川縄文館 2F 受付

概要 館が1周年を迎える日を記念し、来館者先着20名にいのるん付おちょこのプレゼントを行った。開館前から来館者が並び、開館5分でプレゼントが終了した。

(5) 是川縄文館バックヤードツアー

期日 平成24年7月10日(火)

①10:00～12:00 ②14:00～16:00

経路 1F 常設展示→1F 一般収蔵庫→1F バックヤード→2F バックヤード→2F 常設展示室

参加者 44人(全2回)

概要 学芸員引率のもと、是川縄文館展示室及び一般収蔵庫や整理作業室等のバックヤードの案内・解説を行った。参加者は通常公開していない埋蔵文化財の整理作業を興味深く見学した。



1Fバックヤード解説の様子

(6) 縄文グッズ販売フェア

期日 平成24年7月10日(火)～7月24日(火)

会場 是川縄文館 1F ミュージアムショップ

概要 館1周年を記念して、縄文是川ボランティアが製作した縄文グッズの安価販売を行った。また、通常製作していない風張1遺跡出土の頬杖土偶や、他地域出土の国宝・重要文化財についても関係機関に許可をとり、製作・販売をした。

4. 事業概要

(1) 常設展示

常設展示は、直感的な手法では川遺跡を印象付け(右脳)、論理的な手法で詳しい解説を行なう(左脳)、対比的なコンセプトとしており、「縄文の美と謎を探る」ことをテーマとしている。

導入部のイメージ・シアターは、来館者には川遺跡の特徴を印象付け、体験できるシアター空間。漆塗り遺物の赤と黒や縄文文様をテーマとする神秘的な「縄文への道」に続き、豊かな自然の中で植物を多用に利用したくらしを紹介する「縄文くらしシアター」で構成する。続く「縄文の美」は「漆の美」「是川のみ」「風張のみ」の3コーナーからなり、縄文人が作り出した造形美をじっくりと鑑賞できる空間とした。

左脳ゾーンとなる「縄文の謎」では、是川中居遺跡の発掘現場から、調査研究成果として「環境」「くらし」「わざ」「漆文化の広がり」という4つのテーマから紹介している。続く「最新研究報告」は、埋蔵文化財センターの調査・研究成果を更新しながら展示する常新展示を目指している。平成24年度はその第2回目として「八戸の縄文文化」を実施した。

合掌土偶は「国宝展示室」の免震・密閉式展示ケースにて展示されている。なお、1階アトリウムはガイダンス展示となっており、八戸市の遺跡や、全国の縄文遺跡について調べることができる体験型の端末「はちのへ遺跡ログ」・「是川羅針盤」を設置している。

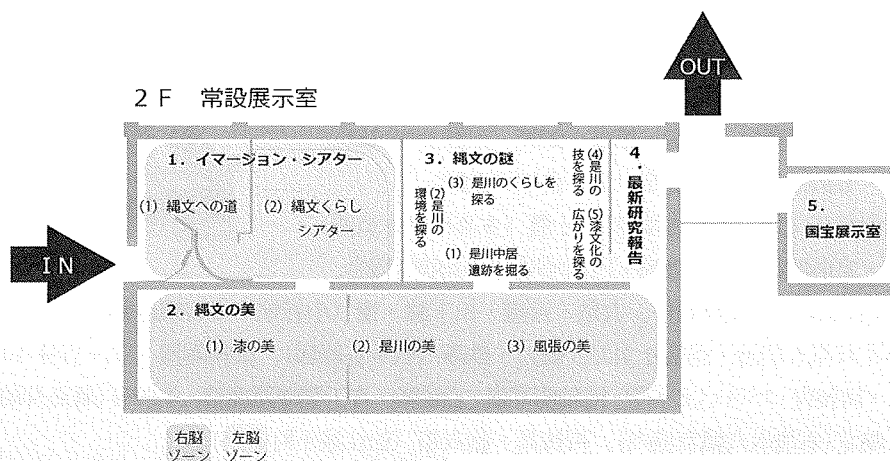
合掌土偶は「国宝展示室」の免震・密閉式展示ケースにて展示されている。

なお、1階アトリウムはガイダンス展示となっており、八戸市の遺跡や、全国の縄文遺跡について調べることができる体験型の端末「はちのへ遺跡ログ」・「是川羅針盤」を設置している。

常設展示品(平成24年度)

考古資料のうち、国指定重要文化財が占める割合は8割を超える。

展示室	展示品	重要文化財	指定外	レプリカ	復元品	民俗資料
漆の美	53	51	2	—	—	—
是川のみ	226	182	44	—	—	—
風張のみ	203	203	—	—	—	—
縄文の謎	88	47	1	6	24	10
最新研究報告	40	20	20	—	—	—
国宝展示室	1	※国宝 1	—	—	—	—
計	611	504	67	6	24	10



1 F アトリウム



展示構成

(2) 企画展示

平成24年度は、春季企画展「掘りday はちのへ」、特別展「発掘された日本列島2012」、秋季企画展「縄文のストーリーサークル」を開催した。特別展は八戸市博物館特別展と会期を合わせ同時開催とした。また、併催行事として特別展考古学講座及び秋季企画展考古学講座を行った。

春季企画展「掘りday はちのへ—平成23年度発掘資料展—」

開催期間	4月28日(土)～6月24日(日) 53日間
観覧者数	6,632名(125人/日)
展示資料数	56点
印刷物	ポスター(B2版)500枚 リーフレット(A4版)20,000枚 解説リーフレット(A3版)5,000枚、招待券338枚
主な展示品	深鉢形土器・土製耳飾り・石槍(田代遺跡)、 関東系土師器坏(田面木遺跡)、土師器坏(酒美平遺跡) 土師器耳皿(坂中遺跡)、土師器高台付皿*1(参考資料)、 土製人形*1(八戸城跡)、花巻人形*2(参考資料) *1…南郷区歴史民俗資料館 蔵 *2…花巻市博物館 蔵



併催行事 ギャラリートーク 5/12、6/9 各日とも11:00～・14:00～

平成23年度に八戸市内で行われた、主要な発掘調査の成果および出土品を紹介した。企画展のタイトルは、年度毎の発掘成果を広報する小冊子「掘りday はちのへ」からとったもの。展示資料が発掘調査に左右されるため、今年度は企画展示室を中央で仕切って開催した。また、縄文・平安・江戸時代の小型土器を比較展示する小特集「ミニチュアの遺物」を行ったほか、調査を担当した学芸員によるギャラリートークを開催し、好評であった。

特別展「発掘された日本列島2012」

開催期間	8月8日(水)～9月17日(月) 38日間
観覧者数	7,723名(203人/日)
展示資料数	600点
印刷物	ポスター(B2版)600枚 リーフレット(A4版)50,000枚 招待券1,000枚
主な展示品	ナイフ形石器(中東遺跡)、石棒・石棒未成品(島遺跡)、 土偶・動物形土製品(上宮田台遺跡)、漆塗り土器(漆下遺跡)、 人面土器(泉坂下遺跡)、銅鐸・銅鏃・銅鏡(旧鎌兵場遺跡)、 板状鉄斧・石鍛冶工具・鉄製品(五斗長垣戸遺跡)、 小型仿製内行花文鏡(本高古墳群)、土囊(本高弓ノ木遺跡)、 犬形埴輪・家形埴輪・蓋形埴輪・円筒埴輪(仁田埴輪窯跡)、 へら書き須恵器(牛頸窯跡群)、大足・舌鐙・田下駄・槽(小谷地・中谷地遺跡)、 経筒・瑞花双鳳五花鏡、漆塗り太刀、短刀・鉄鏃(堂ヶ谷経塚)、灰釉陶器(堂ヶ谷廃寺)、 てつはう・鉄製胃・パスパ文字印・褐釉四耳壺・白磁碗・青玉製雌雄鹿像・木製碇(鷹島神崎遺跡)、 独鈷杵・輪宝(石清水八幡宮境内)、祈祷具・胞衣箱(松江城下町遺跡)、 官軍・薩摩軍発砲小銃弾(山頭遺跡)、尖頭器(赤柴遺跡)、深鉢形土器・石器(檜内I遺跡)
併催行事	特別展考古学講座 8/25 10:00～12:00、地域展「縄文人の一生」(八戸市博物館特別展)



文化庁が主催する日本全国から注目の遺跡・遺物を集めて速報展示する全国巡回展。八戸では、第1回会場(95八戸市博物館)となって以来、17年ぶりの開催となった。多量の展示品に対応するため、展示準備室を一時的に改修し、2室で展示した。旧石器から明治まで各時代の遺物が一度に見られ、関西や九州といった他地域の最新の様相を知る機会となり、夏休み期間中ということもあり盛況であった。八戸市博物館特別展「縄文人の一生」を地域展示と位置づけ、観覧券を共通とし、土日祝日は両館を結ぶ無料シャトルバスを運行するなどの新たな取組みも好評であった。

秋季企画展「縄文のストーンサークル」

開催期間	10月13日(土)～11月25日(日) 39日間
観覧者数	3,037名(77人/日)
展示資料数	169点
印刷物	ポスター(B2版)500枚 リーフレット(A4版)50,000枚 解説リーフレット(A3版)7,000枚 招待券600枚 図録(A4版カラー85ページ)500部
主な展示品	切断壺形土器・冠状土製品・鐸形土製品(重文・大石平遺跡)、 蓋形土器・キノコ形土製品・三脚石器(大湯環状列石)、 土偶・石刀(湯舟沢遺跡)、深鉢形土器(樺山遺跡)、 水差形土器(八天遺跡)、三角形岩板・動物内蔵土器(小牧野遺跡)、 切断蓋付土器・脚付鉢形土器・土偶・腕輪形土製品(立石遺跡)
併催行事	企画展考古学講座 10/27 14:00～16:00



縄文時代の記念物であるストーンサークル(環状列石)を、出土品や模型、解説パネルにより紹介した。展示では、他館が所蔵するストーンサークルの模型のほか、企画展としても模型を作成し、立体的な構造が伝わるように工夫した。また、同時期の英国のストーンサークル・ストーンヘンジを比較しながら紹介した。ハンズオン展示として、小牧野環状列石の石を持ち上げられる「ストーンサークルの石をさわってみよう」のほか、ウレタンブロックを巨石に見立てた「ストーンヘンジをつくってみよう」を展示室内に設置した。重量や構造などが触って理解できるため、好評であった。

(3) 埋蔵文化財発掘調査

【埋蔵文化財発掘調査】

八戸市には、487箇所(遺跡)の周知の埋蔵文化財包蔵地(以下、遺跡)が存在し、土木工事等の開発により遺跡が破壊される場合、事前に記録調査のため発掘調査が必要となる。市では、社会教育課に提出された遺跡内の工事に係る届出(通知)書に基づき、是川縄文館で発掘調査を実施している。

平成24年度は、30遺跡及びその隣接地の計45件の発掘調査を実施した。内訳は試掘・確認調査37件、本発掘調査8件(試掘後の本調査を含む)である。調査数が最も多い遺跡は新井田地区に所在する新井田古館遺跡で7件を数える。調査面積が最も大きかったのは、昨年度から調査を実施している田代遺跡で、2,700㎡の調査を実施した。

調査原因の種類別では、個人住宅建築14件、市道改良(舗装)工事3件、下水道整備工事4件、集合住宅(アパート)建築7件、鉄塔建設3件、長芋作付・農地造成・自然崩壊ほか14件となっており、個人住宅建築に係る発掘調査件数が多い。

【埋蔵文化財調査報告書】

平成24年度に実施された発掘調査の成果を埋蔵文化財調査報告書として計3冊を年度末に刊行した。

このうち、下水道整備工事に伴う発掘調査報告書は、平成23年度の調査成果も含む。



根城跡岡前館の発掘調査

平成24年度刊行埋蔵文化財調査報告書一覧

八戸市埋蔵文化財調査報告書	第140集	八戸市内遺跡発掘調査報告書30
	第141集	下水道整備工事に伴う発掘調査報告書3
	第142集	新井田古館遺跡

平成 24 年度八戸市内遺跡発掘調査一覧

	遺跡名	調査	調査原因	調査期間	調査面積(m ²)	主な時代
市内遺跡発掘調査事業	新井田古館遺跡第26地点	試掘	集合住宅建築	H24.4.5・6	61	中世・城館跡
	館平遺跡①	試掘	個人住宅建築	H24.4.10	14	縄文・集落跡
	櫛引遺跡	試掘	個人住宅建築	H24.4.11	15	縄文・集落跡
	狐平遺跡第5地点	試掘	集合住宅建築	H24.4.17・18	50	縄文・集落跡
	塩入遺跡隣接地	試掘	個人住宅建築	H24.4.19	4	縄文・散布地
	酒美平遺跡第16地点	試掘	個人住宅建築	H24.4.25	18	古代・集落跡
	駒木沢(1)遺跡隣接地	試掘	水辺整備	H24.5.8～5.11	44.5	縄文・散布地
	市子林遺跡	試掘	舗装・土留め	H24.5.11	11	古代・集落跡
	野馬小屋遺跡	試掘	整地	H24.5.12～5.24	656	縄文・集落跡
	新井田古館遺跡隣接地	試掘	個人住宅建築	H24.6.1	8	中世・城館跡
	八戸城跡	試掘	四阿建築	H24.6.12	6.95	近世・城館跡
	田面木遺跡第42地点	試掘	擁壁設置	H24.6.13～6.15	39.5	古代・集落跡
	新井田古館遺跡第28地点	試掘	集合住宅建築	H24.6.20～6.27	288	中世・城館跡
	丹内遺跡第1地点	試掘	抜根	H24.7.3.～7.10	51	縄文・散布地
	新井田古館遺跡第27地点	試掘	集合住宅建築	H24.7.11	27	中世・城館跡
	館平遺跡第24地点	試掘	個人住宅建築	H24.7.13・14	29	縄文・集落跡
	一王寺(1)遺跡	試掘	排水管改良工事	H24.7.24～8.6	66	縄文・集落跡
	殿見遺跡隣接地	試掘	個人住宅建築	H24.8.8	19	平安・古墳
	酒美平遺跡第17地点	試掘	店舗建築	H24.8.24	203	奈良・集落跡
	冷水遺跡第2地点	試掘	福祉施設建設	H24.8.24	39	縄文・散布地
	松ヶ崎遺跡第17地点	試掘	個人住宅建築(浄化槽設置)	H24.8.30	7.5	縄文・集落跡
	咽平遺跡	試掘	道路改良	H24.9.1 H24.11.8	32	縄文・散布地
	狼走(2)遺跡第1地点	試掘	鉄塔建設	H24.9.4～9.13	26.5	古代・集落跡
	北熊ノ沢(2)遺跡第1地点	試掘	鉄塔建設	H24.9.4～9.13	36	古代・集落跡
	鉄塔建設予定地内遺跡確認調査	試掘	鉄塔建設	H24.9.4・7	62	-
	上ノ沢遺跡	試掘	道路改良	H24.9.14～9.21	16.5	縄文・散布地
	雷遺跡隣接地	試掘	個人住宅建築	H24.10.5	15	縄文・散布地
	酒美平遺跡	試掘	個人住宅建築	H24.10.24	23	奈良・集落跡
	八幡遺跡隣接地	試掘	貸店舗建築	H24.10.30・31 H24.12.4	15.7	縄文・集落跡
	館平遺跡第25地点	試掘	個人住宅建築	H24.11.21・22	46	縄文・集落跡
	松ヶ崎遺跡	試掘	道路改良	H24.11.29 H25.1.29	33.5	縄文・集落跡
	神子沢久保(1)遺跡	試掘	農業用倉庫建築	H24.12.19	38.4	縄文・散布地
田代遺跡第1地点	本調査	個人農地造成	H24.4.27～6.29	2,700	縄文・集落跡	
松ヶ崎遺跡第16地点	試掘・本調査	個人住宅建築	H24.5.24 H24.7.3～7.21	120	縄文・集落跡	
櫛引遺跡第4地点	試掘・本調査	長芋作付	H24.5.25～5.31 H24.6.2～6.12	388	縄文・集落跡	
林ノ前遺跡	本調査	自然崩壊	H24.7.18～9.28	258	古代・集落跡	
八戸城跡第29地点	試掘・本調査	個人住宅建築	H24.10.16～10.19 H24.11.2～11.16	154	近世・城館跡	
根城跡岡前館第56地点	確認調査	個人住宅建築	H24.4.19～5.12	167	中世・城館跡	
受託事業	新井田古館遺跡第26地点	本調査	集合住宅建築	H24.7.14～8.11	283	中世・城館跡
	新井田古館遺跡第27地点	本調査	集合住宅建築	H24.10.2～10.27	479	中世・城館跡
	新井田古館遺跡第28地点	本調査	集合住宅建築	H24.11.21～12.15	978	中世・城館跡
	縫久保遺跡	試掘調査	下水道整備工事	H24.11.27～12.1	124	縄文・散布地
	石橋遺跡	確認調査	下水道整備工事	H24.11.9～11.24	135	縄文・散布地
	重地遺跡	確認調査	下水道整備工事	H24.8.28～9.4	110	縄文・集落跡
	市子林遺跡	確認調査	下水道整備工事	H24.9.25～10.24	164	古代・集落跡

(4) 是川遺跡出土品保存修理事業

内容 漆製品・木製品 10 点の修理・台座製作

期間 平成 24 年 7 月 20 日～平成 25 年 2 月 28 日

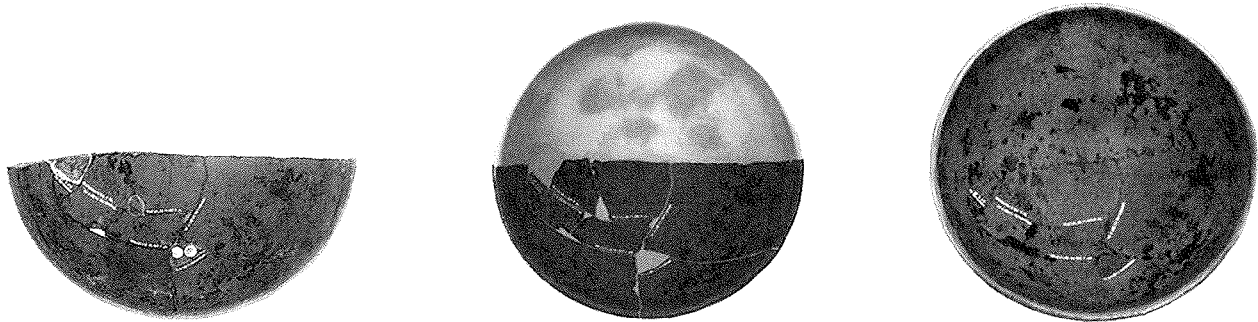
受託者 株式会社 東都文化財保存研究所(埼玉県川口市)

事業費 5,013 千円(補助対象額 5,000 千円の 50%国庫補助)

概要 平成 23 年、是川遺跡出土品 330 点が重要文化財に追加指定された。この指定品の中には、木製品や漆塗り製品があり、発掘調査後に保存処理が施されているが、欠損部分や脆弱な部分がある。また土器・石製品等には、石膏の充填や接合部の剥離等があり、公開活用をする上で美観が不十分なものもある。このため、出土品本来の姿を忠実に再現し、色彩も美観を損ねることがないように補修を行うとともに、脆弱な部分の強化と遺物にあわせた保存台を製作する。

事業計画 1 期 5 か年を基本として、全 2 期で出土品の保存修理及び保存台製作を実施する。

第 1 期は平成 24 年～28 年度で実施する。



修理前の状況(漆塗り浅鉢形土器)

樹脂の充填

完成

(5) 世界文化遺産登録へ向けた取り組み

八戸市は、北海道・青森県・岩手県・秋田県の 4 道県 14 市町による共同推進体制の一員として、「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」の世界遺産登録を目指している。当市では、是川石器時代遺跡・長七谷地貝塚の 2 つが構成資産となっており、平成 25 年の推薦書提出、平成 27 年の登録を目指し、推薦書案についての検討作業のほか、保存管理体制の検討を行っている。世界文化遺産登録には市民の理解が不可欠であるため、縄文遺跡群の内容を紹介したパネル展を行い、PR に努めている。

【縄文遺跡群パネル展】

開催期間 ①平成 24 年 8 月 19 日(日) ②11 月 26 日～12 月 7 日 ③平成 25 年 1 月 10 日～1 月 18 日

開催場所 ①是川縄文館分館(縄文学習館) ②市庁本館 1 階市民ホール ③市民病院 1 階ホスピタルモール

概要 「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」の概要説明、構成資産位置図、各構成資産の概要についての A 1 版パネルを作成しパーテーションに掲示した。



市庁本館1階 市民ホール



市民病院1階 ホスピタルモール

(6) 是川遺跡の整備活用

① 是川縄文館草刈等委託

期間 平成24年6月27日(水)～10月5日(金)
回数:3回
場所 史跡是川石器時代遺跡・八戸市縄文学習館敷地内・
是川遺跡記念碑 ※委託総面積:約47,700㎡
受託者 八戸市森林組合
事業費 2,835千円
概要 遺跡の環境保全・景観管理のため、館の繁忙期や行事、
草の繁茂状況を鑑み、6月・8月・9月に実施した。



修繕作業の状況

② 平成24年度縄文学習館複製竪穴住居修繕

期間 平成24年10月4日(木)～平成25年3月29日(金)
場所 八戸市縄文学習館敷地内(2棟のうち1棟)
受託者 是川文化財愛護会
事業費 2,194千円
概要 複製竪穴住居の設置から約20年が経過し、老朽化が顕著となったため、2棟あるうちの1棟について解体及び再建築作業を実施した。修繕作業にあたり、縄文是川ボランティアからの協力があつた。

(7) 教育普及

○ ギャラリートーク

月 日	内 容	講 師	参加者
5月12日(土)	企画展「掘りdayはちのへ」展示解説	船場 昌子・杉山 陽亮(当館学芸員)	24人
6月9日(土)		田中 美穂・横山 寛剛(当館学芸員)	39人
合 計			63人

○ ワークショップ「縄文時代の野焼き方法を考える」

月 日	内 容	指導協力	参加者
5月25日(金)	縄文土器の等の野焼き実験 ※5月は雨天中止、6月に再実施	北野 博司氏 (東北芸術工科大学芸術学部 准教授)	16人
6月12日(火)		-	20人
合 計			36人

○ 是川縄文館考古学講座 前期「道具からみえる縄文時代の生業と祭祀」

月 日	内 容	講 師	参加者
5月26日(土)	ススとコゲからみた縄文土鍋の調理方法	北野 博司氏 (東北芸術工科大学芸術学部 准教授)	43人
6月9日(土)	石器・骨角器からみる縄文人の狩猟	会田 容弘氏 (郡山女子大学短期大学部 准教授)	45人
6月23日(土)	まつりの道具	長田 友也氏 (南山大学人文学部 非常勤講師)	37人
合 計			125人

○ ボランティア養成講座(6月)

月 日	内 容	講 師	参加者
6月14日(木)	縄文是川ボランティアについて	市川 健夫(当館学芸員)	28人
6月16日(土)	是川遺跡について	小林 和彦(当館館長)	23人
6月19日(火)	是川縄文館常設展示解説①	市川 健夫(当館学芸員)	26人
6月22日(金)	是川縄文館常設展示解説②	市川 健夫(当館学芸員)	23人
6月26日(火)	縄文学習館・是川遺跡解説	市川 健夫(当館学芸員)	20人
6月29日(金)	博物館研修「つがる市」	市川 健夫(当館学芸員)	23人
6月30日(木)	縄文土器野焼き実習	市川 健夫(当館学芸員)	21人
合 計			164人

○ 発掘調査現地説明会

月 日	内 容	講 師	参加者
6月16日(土)	田代遺跡発掘調査現地説明会	船場 昌子・田中 美穂(当館学芸員)	52 人
合 計			52 人

○ 特別展考古学講座

月 日	内 容	講 師	参加者
8月25日(土)	西と北の弥生文化	禰宜田 佳男氏 (文化庁記念物課 主任文化財調査官)	48 人
合 計			48 人

○ 縄文の布を編む講座

○ 縄文土器作り講座

月 日	内 容	講 師	参加者
9月7日 (金)	解説「縄文の布について」 実習「縄文の布を編む」	市川 健夫 (当館学芸員) 縄文是川ボランティア	4 人
合 計			4 人

月 日	内 容	講 師	参加者
10月2日(火)	素地土作り	市川 健夫 (当館学芸員) 縄文是川ボランティア	13 人
10月5日(金)	縄文土器作り		13 人
10月30日(火)	縄文土器野焼き		17 人
合 計			13 人

○ 企画展考古学講座

月 日	内 容	講 師	参加者
10月27日(土)	環状列石の祭祀遺物	成田 滋彦氏 (青森県埋蔵文化財調査 センター 文化財保護主幹)	34 人
合 計			34 人

○ 平成24年度遺跡発掘調査報告会

月 日	内 容	講 師	参加者
11月17日(土)	平成24年度遺跡調査報告会 松ヶ崎遺跡・田代遺跡・新井田古館遺跡 袖の平遺跡	横山 寛剛・田中 美穂・船場 昌子 (当館学芸員) 藤田 直行氏(軽米町教育委員会)	82 人
合 計			82 人

○ 是川縄文館考古学講座 後期「縄文時代のヒト・環境・資源」

月 日	内 容	講 師	参加者
12月8日(土)	越冬と越夏 - 狩猟採集民の食物保存戦略 -	田口 洋美氏 (東北芸術大学芸術学部 教授)	42 人
1月26日(土)	縄文時代の環境変動と環境災害	辻 誠一郎氏 (東京大学大学院新領域 創成科学研究科 教授)	59 人
2月16日(土)	縄文時代の植物利用	佐々木 由香氏(㈱パレオ・ラボ 統括部長)	64 人
合 計			165 人

○ ボランティア養成講座 (12月-3月)

月 日	内 容	講 師	参加者
1月16日(水)	是川遺跡について	小林 和彦(当館館長)	22 人
1月19日(土)	縄文は川ボランティアについて	市川 健夫(当館学芸員)	19 人
1月22日(火)	是川縄文館常設展示室解説Ⅰ	市川 健夫(当館学芸員)	22 人
1月25日(金)	是川縄文館常設展示室解説Ⅱ	市川 健夫(当館学芸員)	20 人
1月29日(火)	縄文学習館・中居遺跡展示解説	市川 健夫(当館学芸員)	19 人
2月2日(土)	縄文土器作り	市川 健夫(当館学芸員)	23 人
2月5日(火)	世界文化遺産登録運動とボランティアの役割	栗村 知弘氏(八戸縄文保存協会会長)	25 人
2月9日(土)	陶器作り実習①	後村 弘樹氏(陶芸家)	12 人
2月19日(火)	英語セミナー	前田 なつみ氏(青森県観光連盟国際観 光コーディネーター・英語アドバイザー)	23 人
2月23日(土)	陶器作り実習②	後村 弘樹氏(陶芸家)	8 人
3月19日(火)	縄文土偶作り	市川 健夫(当館学芸員)	16 人
3月29日(金)	博物館研修	市川 健夫(当館学芸員)	26 人
合 計			235 人

○ 日曜日縄文体験コーナー 体験学習指導：縄文は川ボランティア

月 日	内 容	参加者
夏季前期: 4月 1日(日)～ 7月15日(日)	・火起こし・縄文土器作り・縄文土偶作り・土製耳飾り作り ・勾玉作り・文様拓本・縄文の布を編む	329 人
夏季後期: 8月26日(日)～10月28日(日)		145 人
冬 季: 11月 4日(日)～ 3月31日(日)		173 人
合 計		647 人

○ 夏休み縄文体験コーナー 体験学習指導：縄文は川ボランティア

月 日	内 容	参加者
7月 21日(土)～8月18日(土)	・火起こし・縄文土器作り・縄文土偶作り・土製耳飾り作り ・勾玉作り・文様拓本・縄文の布を編む	350 人
合 計		350 人

○ これかわ縄文まつり体験コーナー 体験学習指導：縄文は川ボランティア

月 日	内 容	参加者
8月19日(日)	・火起こし・縄文土器作り・縄文土偶作り・土製耳飾り作り ・勾玉作り・文様拓本・縄文の布を編む	297 人
合 計		297 人

○ 学芸員による講座

月 日	内 容	団体・場所	参加者
5月15日(火)	講話「誰でもわかる縄文のおはなし」	ふるさと味倶楽部(於: 是川縄文館)	19 人
5月25日(金)	講話「縄文の魅力」(初任者研修)	八戸市総合教育センター(於: 同センター)	9 人
6月 1日(金)	講話「ボランティアの育成とつながり」	上北教育事務所派遣社教主事研修(於: 是川縄文館)	7 人
6月 5日(火)	講話「八戸の史跡」	白銀公民館生き活き教室(於: 同公民館)	24 人
6月22日(金)	講話「掘りdayはちのへー企画展示解説」	八戸自由大学(於: 是川縄文館)	27 人
8月31日(金)	講話「最新の出土品で見る日本の歴史」	八戸自由大学(於: 是川縄文館)	22 人
9月29日(土)	講話「長七谷地貝塚と是川遺跡」	三市ベンクラブ交流会(於: 是川縄文館)	27 人
10月19日(金)	講話「是川中居遺跡の漆工芸」	八戸自由大学(於: 是川縄文館)	15 人
11月 2日(金)	講話「是川中居遺跡の調査」	鷗盟大学(於: 是川縄文館)	82 人
11月11日(日)	講演「合掌土偶」	『MIHO MUSEUM秋季特別展覧会 国宝土偶フォーラム』 (主催・於: MIHO MUSEUM)	- 人
11月24日(土)	講話「長七谷地貝塚」	『世界遺産候補地の「貝塚」探訪』(於: 是川縄文館)	40 人
12月15日(土)	発表「是川石器時代遺跡」	『世界遺産登録推進フォーラム』(於: 青森県観光物産館)	- 人
	発表「長七谷地貝塚」	※主催: 縄文遺跡群世界遺産登録推進本部	- 人
1月27日(日)	発表「長七谷地貝塚」	『世界遺産フォーラム』(於: 東京都有楽町マリオン)	- 人
	発表「是川石器時代遺跡」	※主催: 縄文遺跡群世界遺産登録推進本部	- 人
1月29日(火)	講話「八戸の遺跡」	長者・吹上・中居林まちづくり協議会 まちづくりセミナー(於: 長者公民館)	50 人
2月 1日(金)	講話「馬淵川と新井田川の縄文文化」	二戸地方老人クラブ連合会 指導者研修会並びに 女性会員研修会(於: グランドサンピア八戸)	89 人
合 計			411 人

○ 土曜日体験教室

月 日	内 容	講 師	参加者
4月21日(土)	縄文の布を編む教室	市川 健夫(当館学芸員)・縄文は川ボランティア	8 人
5月19日(土)	シカの角でペンダント作り教室	市川 健夫(当館学芸員)・縄文は川ボランティア	24 人
6月16日(土)	縄文土器作り教室	市川 健夫(当館学芸員)・縄文は川ボランティア	17 人
7月14日(土)	合掌土偶作り教室	市川 健夫(当館学芸員)・縄文は川ボランティア	11 人
9月22日(土)	シカの角で釣針作り教室	市川 健夫(当館学芸員)・縄文は川ボランティア	5 人
10月20日(土)	トチの実を食べる教室(於分館)	市川 健夫(当館学芸員)・縄文は川ボランティア	10 人
11月24日(土)	ドングリを食べる教室(於分館)	市川 健夫(当館学芸員)・縄文は川ボランティア	12 人
12月22日(土)	縄文土器の拓本教室	市川 健夫(当館学芸員)・縄文は川ボランティア	8 人
1月12日(土)	縄文の布を編む教室	市川 健夫(当館学芸員)・縄文は川ボランティア	5 人
2月 9日(土)	縄文土器作り教室	市川 健夫(当館学芸員)・縄文は川ボランティア	12 人
3月23日(土)	縄文土偶作り教室	市川 健夫(当館学芸員)・縄文は川ボランティア	14 人
合 計			126 人

○ ボランティアによる体験学習の指導 ※参加者数は、各団体来館者のうち、実際の体験参加者数を記載する。

月 日	内 容	団 体 名	参 加 者	月 日	内 容	団 体 名	参 加 者
4月3日	縄文土器作り 板状土偶作り	松平病院	14人	8月29日	ミニ合掌土偶作り	是川小学校4年	43人
4月27日	縄文土器作り	階上町立赤保内小学校6年	43人	9月3日	ミニ合掌土偶作り	個人	2人
5月1日	縄文土器作り	江南小学校5・6年	48人	9月5日	縄文土偶作り	是川小学校6年	47人
5月2日	縄文土器作り	吹上小学校6年	106人	〃	縄文土偶作り	是川東小学校4・6年	4人
〃	ペンダント作り	白山台小学校6年(於分館)	149人	9月6日	縄文土器作り	是川小学校5年	31人
5月11日	火起こし	南部町立福地小学校6年	20人	9月7日	縄文土器作り	是川小学校3年	40人
〃	縄文土器作り	㈱ユニークアイ	12人	9月11日	板状土偶作り	是川小学校2年	28人
5月25日	ミニ合掌土偶作り	総合教育センター初任者研修 (於総合教育センター)	9人	9月12日	ペンダント作り	是川小学校1年	41人
5月29日	火起こし	南部町立杉沢小学校6年	11人	〃	ペンダント作り	是川東小学校1～3年	4人
5月31日	縄文土器作り	新郷村立戸来小学校6年	24人	9月20日	土製耳飾り作り	八戸第二養護学校小学部4年	2人
6月1日	ペンダント作り	三沢市おおぞら小学校6年	22人	9月28日	ペンダント作り	八戸第一養護学校高等部1年	13人
〃	縄文土器作り	第一養護学校高等部1・2年	10人	10月3日	縄文土偶作り	三沢市ソラーズ小学校6年	25人
6月4日	縄文土器作り	白銀南中学校1年	123人	10月4日	ペンダント作り	城下小学校6年親子レク	99人
6月6日	火起こし	第一養護学校中学部3年	6人	10月5日	ミニ合掌土偶作り	洋野町立中野小学校4年	21人
6月7日	ペンダント作り	八戸工業第二高等学校2年	33人	10月17日	縄文土偶作り	三沢市ソラーズ小学校6年	24人
6月9日	ペンダント作り	個人	4人	10月20日	縄文土器作り	南部町立福田小学校5年 親子レク	41人
6月13日	火起こし	島守小学校6年	35人	11月8日	火起こし	階上町立階上小学校5・6年	8人
6月14日	縄文土器作り	第一養護学校中学部3年	6人	11月9日	土製耳飾り作り	鯨中学校3年	95人
6月21日	ミニ合掌土偶作り	南部町立南部小学校6年	19人	〃	火起こし 勾玉作り	八戸市民病院	23人
〃	ペンダント作り	八戸第二養護学校高等部1・3年	16人	11月11日	火起こし	南部町立福田小学校4年 親子レク	57人
〃	縄文土器作り	南部町立杉沢中学校1・2年	27人	11月14日	縄文土偶作り	三沢市ソラーズ小学校6年	21人
6月28日	縄文土器作り	階上町立石鉢小学校6年	44人	11月16日	遮光器土偶 頭部の皿作り	三沢市カミングス小学校 幼稚園の部	43人
6月30日	縄文土器作り	個人	2人	〃	ペンダント作り	八戸第一養護学校小学部5・6年	3人
7月4日	火起こし・勾玉作り	青森市立甲田中学校2年	6人	11月17日	火起こし	ケアホーム青風荘	21人
7月6日	土製耳飾り作り	みどりの風保育園	31人	11月20日	勾玉作り	青森県地域活動連絡協議会	88人
〃	土製耳飾り作り	桔梗野幼稚園	35人	11月22日	ペンダント作り 勾玉作り	㈱JTB法人東京教育第一事業部	10人
7月18日	縄文土器作り	旭ヶ丘小学校6年	78人	11月23日	火起こし 縄文土器作り	個人	3人
7月19日	縄文土器作り	南部町立福田小学校6年	19人	11月30日	ペンダント作り	三沢市ソラーズ小学校2年	87人
7月21日	縄文土器作り	正法寺子ども会三条小学校1～6年	11人	〃	縄文土器作り	南部町立名川南小学校5・6年	7人
7月22日	火起こし	軽米町立晴山小学校6年	29人	12月18日	勾玉作り 火起こし	洋野町商工会女性部	12人
7月27日	板状土偶作り	三戸郡中学校社会科教育研修会	12人	〃	勾玉作り	田面木小学校6年親子レク	62人
〃	縄文土器作り	三沢市教育委員会 (於三沢市歴史民俗資料館)	27人	12月26日	勾玉作り	田子町すくすく倶楽部	35人
7月29日	縄文土器作り	洋野町渋谷上子ども会	14人	1月17日	縄文土器作り	上社連社会教育委員会部会	48人
8月5日	縄文土器作り 拓本作り	はちのへ青年倶楽部 カダリスト	8人	1月22日	拓本作り	大久喜小学校6年	11人
8月7日	縄文土器作り	個人	2人	2月17日	えんぶり火起こし	白山台小学校6年(於八戸市庁)	3人
8月10日	縄文土器作り 勾玉作り	個人	3人	2月22日	板状土偶	階上町立小舟渡小学校5・6年	18人
8月23日	勾玉作り	八戸地域防災協会 おいらせ消防署ブロック	18人	3月4日	火起こし	百石幼稚園	26人
8月25日	縄文土器作り	おいらせ町立下田小学校5年	49人	総 計			2,271人

(8) 地域連携

【さわやか八戸グッジョブウィーク(職場体験学習)】

田代中学校1名、大館中学校2名、是川中学校2名を受け入れ、展示解説及び出土品整理等の職場体験を行った。

【八戸工業高等専門学校エンジニアリングデザイン】

「土器づくりの地域性について-海浜部と山間部の土器の比較-」に協力し、講義や資料提供を行った。

【八戸北高等学校スーパーサイエンスハイスクール】

地学班「八戸市牛ヶ沢遺跡から産出した縄文土器の胎土分析」に協力し、胎土分析サンプルとなる縄文土器破片7点を提供した。



エンジニアリングデザインでの講義

(9) 資料収蔵

是川縄文館では、遺跡出土品及び関連図書の収集及び収蔵を継続的に実施している。

遺跡出土品については、平成24年度遺跡発掘調査において出土し整理作業が終了した出土品658点(遺物収納箱45箱)、個人寄贈品1点を新たに収蔵した。収蔵状況は特別収蔵庫：約700点(国指定重要文化財、木製品・金属製品等)・一般収蔵庫：約2,420箱(土器・石器・土製品等)である。

また、当館では収蔵資料管理の体系化を目的とし、収蔵品等の再整理・再収納及びデータベース化を行っており、平成24年度は牛ヶ沢(4)遺跡を中心とする39遺跡の出土品(遺物収納箱250箱)を対象として作業を実施した。



一般収蔵庫

図書については、考古学分野を中心に約44,000冊を収蔵している。図書は書庫に収蔵するほか、閲覧コーナーにおいて一般開放している。平成24年度は629冊(寄贈614、購入15)を新たに追加した。

(10) 調査研究

【共同研究】

八戸地域では、縄文遺跡を営んだ集団が周辺の自然環境とどのように関わり、適応していったのか、環境史的な視点からの調査研究が進んでいないという問題がある。これに対し、当地域の環境変動と人間活動の関わりを研究テーマとして考えていた東京大学大学院環境史研究室と平成23年度から3ヵ年計画の共同研究を開始した。

・共同研究テーマ 『古八戸湾変遷と集落生態系の復原』

・研究期間 2012年4月～2013年3月

(2011年～2013年度の3ヵ年計画の2年目)

・研究体制 八戸市埋蔵文化財センター-是川縄文館

東京大学大学院新領域創成科学研究科社会文化環境学専攻 環境史研究室 (代表 辻 誠一郎教授)

・【研究活動】

①2012年7月21日～7月22日

第1回研究会、新井田川周辺の現地視察(ボーリング候補地選定)

②2012年11月26日～11月27日

第2回研究会、ボーリング・コアの採取(採集場所：松館川流域・丹内遺跡周辺、新井田川流域・風張1遺跡隣接地計2箇所)、八戸市林ノ前遺跡・同市冷水遺跡出土赤御堂式土器付着炭化物の採取(年代測定用、於是川縄文館)

③2013年3月7日



ボーリング・コア採取作業

第3回研究会（2年目の総括、次年度の打合せ等）

・【関連活動】

- ・是川縄文館考古学講座 「縄文時代の環境変動と環境災害」（辻 誠一郎氏、2013年1月26日）
- ・是川縄文館「研究紀要」第2号「東北地方北東部における縄文時代の環境変動と生態系史」（2013年3月29日）

【学芸員の研究業績 ※平成23年4月～平成25年3月】

【論文等】

平成23年5月

横山寛剛 「青森県垂柳遺跡の深鍋のスス・コゲからみた東北地方弥生中期の炊飯方法と食事様式」『日本考古学協会第77回総会研究発表要旨』日本考古学協会（共著）

平成23年10月

宇部則保 「蝦夷社会の須恵器受容と地域性」『海峡と古代蝦夷』所収 高志書院

宇部則保 「【書評と紹介】新青森市史 通史編第1巻 原始・古代・中世」『弘前大学國史研究』131 弘前大学國史研究会

平成23年11月

市川健夫 「青森県内における縄文遺跡群の量的評価に関する研究 -中間報告-」『平成23年度青森県考古学会秋季大会 -青森県縄文文化の諸問題- 資料集』青森県考古学会（共著）

平成24年1月

宇部則保 「馬淵川北岸の古代末期の土器」『平成23年度前九年合戦・安倍氏研究事業「安倍氏のうつわ検討会」』金ヶ崎教育委員会

平成24年2月

杉山陽亮 「田面木遺跡」『第38回古代城柵官衙遺跡検討会 資料集』古代城柵官衙遺跡検討会（紙上発表）

平成24年3月

横山寛剛 「八幡遺跡出土の後北C2-D式土器」『八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館研究紀要』1 八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館

市川健夫 「八戸市内における縄文時代の竪穴住居跡数と居住規模」『八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館研究紀要』1 八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館

平成24年9月

小久保拓也 「数字から見る土偶 -東北地方北部・縄文時代晩期」『土偶・コスモス』（MIHO MUSEUM秋季特別展覧会 公式カタログ）MIHO MUSEUM（共著）

平成25年3月

宇部則保 「古代馬淵川流域周辺の土器様相」『八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館研究紀要』2 八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館

村木淳 「第1部時代概説、第2部遺跡、用語解説」『青森県史 資料編 考古2 縄文後期・晩期』

小久保拓也 「第2部遺跡、第3部各論」『青森県史 資料編 考古2 縄文後期・晩期』

杉山陽亮 「第3部各論」『青森県史 資料編 考古2 縄文後期・晩期』

【学会発表等】

平成23年5月

横山寛剛 「青森県垂柳遺跡の深鍋のスス・コゲからみた東北地方弥生中期の炊飯方法と食事様式」『日本考古学協会第77回研究発表会セッション2「土器使用痕研究：スス・コゲからみた縄文・弥生土器と土師器による調理方法」』（連名）

平成23年6月

田中美穂 「円形周溝の穿孔土器」『平成23年度青森県考古学会春季大会』

平成23年9月

小久保拓也 「漆製品の保存処理と保管・活用について -是川遺跡-」『北海道・東北保存科学研究会第23回例会』

平成 23 年 11 月

市川健夫 「青森県内における縄文遺跡群の量的評価に関する研究 -中間報告-」『平成23年度青森県考古学会秋季大会 -青森県縄文文化の諸問題-』(連名)

平成23年12月

船場昌子 「八戸城跡」『平成23年度青森県埋蔵文化財発掘調査報告会』

平成 24 年 10 月

市川健夫 「青森県東部における縄文時代晩期の葬墓制」『平成24年度青森県考古学会秋季大会 -亀ヶ岡文化の葬墓制-』

平成 24 年 12 月

横山寛剛 「縄文時代晩期の器種組成研究」『東北芸術工科大学東北文化研究センター 研究会「縄紋から弥生へ」』東北芸術工科大学

田中美穂 「田代遺跡」『平成 24 年度青森県埋蔵文化財発掘調査報告会』

【研究助成】

平成23年4月～平成24年2月

市川健夫 「青森県内縄文遺跡群についての量的評価に関する研究：世界遺産登録に向けて」『平成23年度笹川科学研究助成 実践研究部門』(研究分担者 ※研究代表者：根岸洋)

平成23年4月～平成25年3月

宇部則保 「古代末期の土器編年構築と集落遺跡の特質からみた、北東北世界の実態的研究」『明治大学大久保忠和考古学振興基金 奨励研究』(研究分担者 ※研究代表者：船木義勝)

平成23年4月～平成25年3月

田中美穂 「古代末期の土器編年構築と集落遺跡の特質からみた、北東北世界の実態的研究」『明治大学大久保忠和考古学振興基金 奨励研究』(研究分担者 ※研究代表者：船木義勝)

(11) 情報発信

館事業の広報および情報発信事業を下記のとおり行った。

① ホームページ

インターネットを利用した広報・情報発信として、ホスティングサーバー上にホームページを開設している。各職員によるコンテンツ更新が簡便にできるよう、CMSを使用し、管理を外部委託している。1日あたりの平均訪問者数は139.59人(平成24年4月～平成25年3月)である。ホームページの訪問者数は更新回数ではなく、来館者数に同調しているため、より魅力ある記事を作成し、ホームページの閲覧者数を入館者数につなげる工夫をしていきたい。

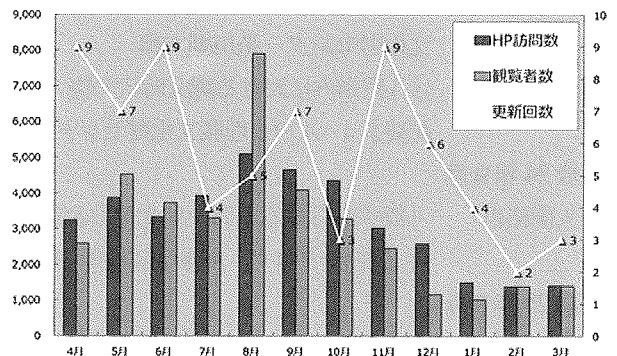
② 広告掲載

特別展および秋季企画展開催を周知するため、地元新聞に広告を掲載した。

- ・特別展開催案内広告「発掘された日本列島2012」
デーリー東北新聞社(7/13, 18, 8/1, 8, 15, 22朝刊)、
東奥日報社(7/19朝刊)、岩手日報社、秋田魁新報社
(7/20朝刊)
- ・企画展開催案内広告「縄文のストーンサークル」
デーリー東北新聞社(10/19朝刊)、東奥日報社(10/13朝刊)、
情報羅針盤コンパス(9/13発行)

③ 八戸ケーブルテレビ「じょうもん発見！是川縄文館」

平成24年4月から平成25年3月まで、月2回、計24回の



年月	HP訪問数	入館者数	更新回数	平均(日)
4月	3,241	2,578	9	108.03
5月	3,869	4,523	7	124.81
6月	3,330	3,737	9	111.00
7月	3,922	3,301	4	126.52
8月	5,097	7,895	5	164.42
9月	4,655	4,091	7	155.17
10月	4,361	3,289	3	140.68
11月	3,026	2,458	9	100.87
12月	2,587	1,161	6	83.45
1月	1,505	1,019	4	48.55
2月	1,387	1,384	2	49.54
3月	1,408	1,456	3	45.42
合計	38,388	36,892	68	139.59

ホームページ訪問者数と更新回数

広報番組を企画し共同で制作した。是川遺跡や是川縄文館の施設、市内の発掘調査などを紹介した。担当職員がアナウンサーと対話する形で進行する。イベント案内も含め、放送時間は約5分で、リピート放送された。

④ 新聞連載記事

「掘り day はちのへ -平成 23 年度発掘資料展-」(デーリー東北) 平成 24 年 4 月～6 月に企画展の紹介記事を 3 回に渡り連載した。

「世界遺産をめざして～あおり縄文紀行」(東奥日報) 平成 24 年 12 月・1 月の 2 回、「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」の構成資産である是川石器時代遺跡と長七谷地貝塚をテーマとした記事を職員が作成した。

⑤ BeFM「施設ガイド」

地元コミュニティラジオの施設ガイドで、是川縄文館のイベント情報について紹介した(3ヶ月に1度)。

⑥ 図録等刊行

研究紀要のほか、企画展示について下記の図録を刊行した。図録についてはミュージアムショップで頒布している。

- ・平成 24 年度秋季企画展図録「縄文のストーンサークル」
A4 版 カラー 85 ページ
- ・「研究紀要 第 2 号」 A4 版 モノクロ 31 ページ

⑦ 遺跡現地説明会

平成 23・24 年度に発掘調査を行った南郷区田代遺跡の現地説明会を、近隣の住民を対象に実施した。県内外から 52 名の参加があった。

【開催日時】 平成 24 年 6 月 16 日(土) 10:00～

⑧ 遺跡調査報告会

平成 24 年度に実施した発掘調査の主な成果を報告した。1 階体験交流室を報告会場、2 階研修室を出土品展示会場とし、県内外から 82 名の参加があった。

【開催日時】 平成 24 年 11 月 17 日(土) 13:00～

(12) ミュージアムショップ・喫茶コーナー「これカフェ」

① ミュージアムショップ

国宝「合掌土偶」をデザインしたグッズ、アクセサリ、お菓子のほか、縄文時代をテーマとしたグッズ等を多数販売している。また、一般書店では販売していない当館の常設展示図録や特別展等の図録なども販売している。

【商品一例】ポストカード、マグカップ、キーホルダー、記念切手シート、ストラップ、Tシャツ、土偶及び土器などのレプリカ、お菓子(クッキー、マドレーヌ、人形焼、せんべい)、当館刊行物、考古学関連書籍等。

② 喫茶コーナー

古代米を使用した「縄文カレー」や縄文時代に食されていたと考えられるドングリ、クルミ、ナッツを合わせた「縄文ソフトクリーム」のほか、郷土料理である「せんべい汁」などを提供している。

なお、「これカフェ」の運営は、八戸縄文保存協会が行っている。



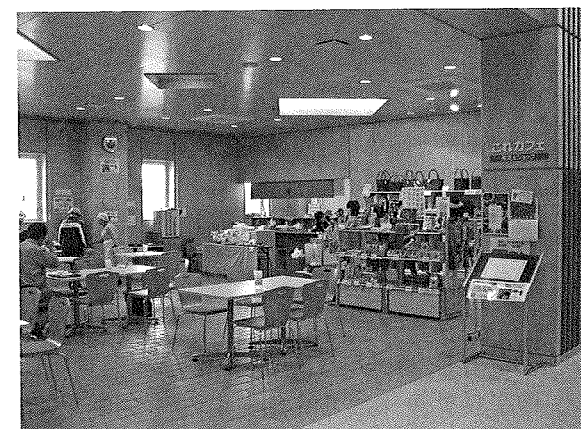
じょうもん発見！是川縄文館



田代遺跡現地説明会



遺跡調査報告会



ミュージアムショップ・喫茶コーナー「これカフェ」

Ⅱ. 八戸市埋蔵文化財センター 是川縄文館 分館（八戸市縄文学習館）

1. 沿革

八戸市縄文学習館は、考古館・歴史民俗資料館とともに是川遺跡と一体となって活用を図る「是川遺跡文化学習ゾーン」の中核施設として、平成6年（1994）に開館した。平成23年（2011）5月に一時休館し、展示リニューアルをへて、同年7月10日に改めて開館した。なお平成23年度機構改革により、八戸市縄文学習館は八戸市博物館分館から八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館分館へ所管替えとなった。

○昭和32年（1957）：「是川石器時代遺跡」国史跡指定。

○昭和36年（1961）：泉山岩次郎氏、斐次郎氏ご兄弟から出土品の寄贈を受ける。

○昭和37年（1962）：寄贈品のうち、中居遺跡出土品633点が重要文化財に指定。

○昭和38年（1963）：「考古館」完成（9月30日）。

○昭和49年（1974）：「歴史民俗資料館」完成（3月30日）。

○昭和50年（1975）：「歴史民俗資料館」開館（5月10日）。

○平成5年（1993）：3月 「縄文学習館」基本設計完成。 4月 縄文学習館展示指導員会議実施。

5月 建築予定地発掘調査実施（8月終了）・地質調査完了。 6月 映像展示ソフト製作委託実施。

7月 建築実施設計完成。 8月 展示実施設計完成。

○平成6年（1994）：3月 建築・設備・展示各工事完成。

6月 「縄文学習館」開館（6月24日、八戸市博物館分館）。

○平成7年（1995）：是川遺跡文化学習ゾーンオープン（2月22日）。

○平成16年（2004）：史跡追加指定。

○平成23年（2011）：4月 機構改革により、「八戸市博物館分館」から「八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館分館」に所管替え。

5月 「考古館」・「歴史民俗資料館」閉館、「縄文学習館」一時休館、縄文学習館展示等改修業務委託実施。

6月 縄文学習館展示等改修業務委託完成。

7月 縄文学習館展示リニューアルオープン（7月10日）

2. 施設概要

(1) 施設の名称と位置

○名称：八戸市縄文学習館（八戸市埋蔵文化財センター 是川縄文館 分館）

○住所：青森県八戸市大字是川字中居3-1

(2) 施設の概要

○構造：1階・2階鉄筋コンクリート造

○敷地面積：15,668.10 m² ○建築面積：526.34 m² ○延床面積：623.82 m²

○建築基本・実施設計：(株)武田菱設計事務所 ○建築工事：(株)大入建設

○展示基本・実施設計及び施工：アール・エー・ビー開発(株)

(3) 主要施設・面積 ※床面積 1階:519.940 m² 2階:103.880 m²

階	室名	面積	階	室名	面積	階	室名	面積
1F	事務室	29.975 m ²	1F	常設展示室	118.673 m ²	2F	資料整理室	34.504 m ²
	情報資料室	29.635 m ²		体験学習室	80.750 m ²		収蔵庫	46.216 m ²

○駐車場：普通車8台 ○トイレ：1箇所（障がい者用含む）

(4) 建設事業費 ※総事業費：341,671千円

○基本・実施設計：11,845千円 ○外構工事等：5,789千円 ○本棟工事等：241,665千円

○展示工事・映像資料製作：68,644千円 ○その他：13,728千円

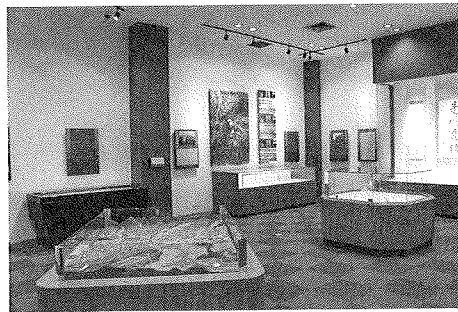
(5) 展示改修等事業費

○事業費：8,810千円 ○展示改修等委託受託者：アール・エー・ビー開発(株)

3. 事業概要

(1) 常設展示①（常設展示室）

是川縄文館分館の常設展示では、是川遺跡の学史的背景や概要について紹介するとともに、埋蔵文化財センターの役割について解説しており、本館常設展示へのプロローグとなっている。



常設展示室

I 是川遺跡と泉山兄弟

是川遺跡の発掘と保存に大きな功績を残した泉山岩次郎、斐次郎ご兄弟を顕彰し、泉山ご兄弟による是川遺跡発掘の歴史や、考古学研究者たちとの関わり等について紹介する。

II 是川遺跡

是川遺跡を構成する一王寺遺跡（縄文時代前期～中期）、堀田遺跡（縄文時代中期）、中居遺跡（縄文時代晩期）について概要を紹介する。また各遺跡の日本考古学史に残る貴重な発見について解説している。

III 是川遺跡の環境

中居遺跡の花粉分析の成果をもとに、縄文時代晩期の頃の環境について紹介する。また屋外に植栽した縄文時代の植物を散策してもらうよう、植物の種類・地点を図表で示しており、フィールドミュージアムの要素を盛り込んでいる。

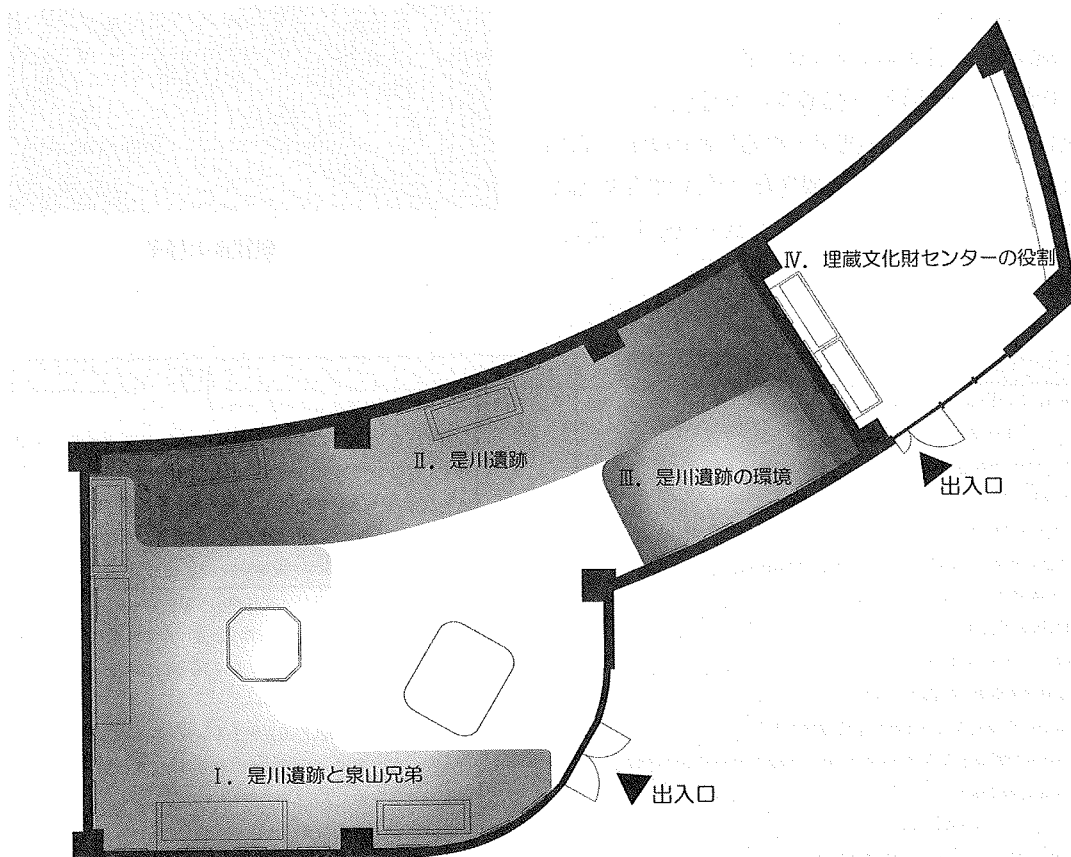
(2) 常設展示②（情報資料室）

IV 埋蔵文化財センターの役割

八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館の機能・役割について紹介する。展示は「埋蔵文化財の保護」、「発掘調査」、「整理作業」、「発掘調査報告書の作成」、「埋蔵文化財の活用と普及」の5項目で構成し、埋蔵文化財保護意識の啓発に努める。また、これまで作成・刊行した八戸市内の遺跡の発掘調査報告書を設置し、閲覧できるようになっている。



情報資料室



展示構成

Ⅲ. 管理運営概要

1. 協議会

(1) 第1回是川縄文館運営協議会

期日 平成25年2月6日(水) 13:30～

会場 是川縄文館 1F 会議室

出席者 石川宏之委員 岡村道雄委員 高田和徳委員
福田友之委員 山内均委員 山下治子委員

概要 是川縄文館の運営や事業について、文化財・教育普及・広報活動等の専門的見地から評価・助言を得るための協議会。委嘱状交付のもと会長・副会長の選出が行われ、岡村道雄委員が会長に、石川宏之委員が副会長に選出された。岡村会長による議事進行で協議が行われ、是川縄文館の平成24年度の事業報告及び平成25年度事業計画等の説明のもと、貴重な助言を得ることができた。



第1回運営協議会の様子

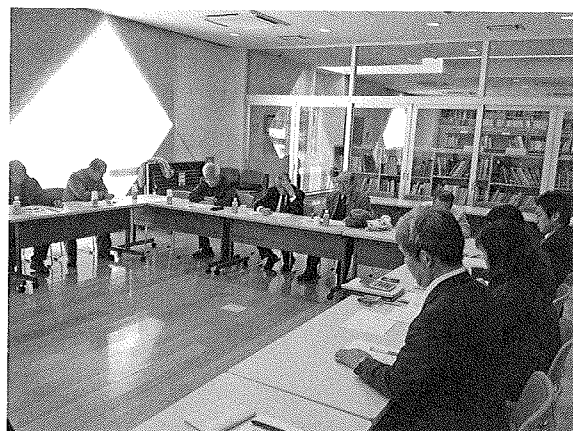
(2) 平成24年度是川縄文館懇談会

期日 平成25年2月21日(木) 13:30～

会場 是川縄文館 2F 研修室

出席者 中居町内会 田中町内会 是川地区振興会
是川団地町内連合会 八戸縄文保存協会
是川文化財愛護会 縄文是川ボランティア
是川縄文隊 各団体代表者等2名

概要 是川縄文館の近隣町内組織及び支援団体から館の運営について助言・連携等を得るための会合。是川縄文館の平成24年度事業報告及び平成25年度事業計画を説明し、広報等の連携について助言を得た。



懇談会の様子

2. 日記抄

年/月/日	事項	年/月/日	事項
H24/4/3	縄文土器・板状土偶作り:松平病院(14人)	4/26	見学:社会福祉協議会みやぎ会(36人)
4/4	見学:エプソンアトミックス㈱(5人)		打ち合わせ:八戸工業高等専門学校エンジニアリングデザイン(2人)
4/5	見学:ボランティア双松会(30人)	4/27	縄文土器作り・見学:階上町立赤保内小学校6年(46人)
4/6	取材:八戸テレビ(4人)		見学:社会福祉協議会みやぎ会(36人) 企画展内覧会(22人)
4/10	取材:八戸テレビ(3人)	4/28	取材:デーリー東北新聞社(1人)
4/11	見学:ほのほのサロン(23人)/エプソンアトミックス㈱(5人)	4/29	見学:大野ふれあいサロン友楽会(29人)
4/12	撮影:キハラ㈱(2人)	5/1	縄文土器作り・見学:八戸市立江南小学校5・6年(51人)
4/13	縄文土器野焼き(22人)		見学:八戸市立中居林小学校6年(62人)/南部町立剣吉小学校6年(35人)
4/14	見学:国際ソロボチミスト(16人)		五戸町立又重小学校6年(12人)/五戸町立石沢小学校6年(14人)/
4/17	見学:青森県都市教育長協議会(9人)		五戸町立中市小学校6年(9人)
4/19	SSH協力協議:青森県立八戸北高等学校SSH(4人)	5/2	縄文土器作り・見学:八戸市立吹上小学校6年(111人)
4/20	見学:八戸市立白銀南小学校6年(118人)/八戸南ロータリークラブ(16人)		ペンダント作り・見学:八戸市立白山台小学校6年(156人)於分館
4/21	縄文の布を編む教室(8人)		見学:コープ青森すずしろの会(21人)
4/24	見学:エプソンアトミックス㈱(7人)	5/8	視察:岩手県教育委員会(5人)
4/25	撮影:八戸テレビ(3人) 縄文土器野焼き(22人)	5/9	見学:日本旅行(27人)
4/26	縄文是川ボランティア激励セレモニー	5/10	見学:Moos(16人)/八戸婦人ボランティアイチャイの会(48人)
	見学:八戸南ロータリークラブ(27人)/学校組合立田代小学校5・6年(7人)	5/11	縄文土器作り・見学:㈱ユニークアイ(12人)

年/月/日	事項	年/月/日	事項
5/11	火起こし・見学: 南部町立福地小学校6年(20人) 見学: 戸類家やまびこ会(16人)	6/16	縄文土器作り教室(2人) ボランティア養成講座②(21人) 講師: 館長 田代遺跡発掘調査現地説明会(52人)
5/12	企画展ギャラリートーク: 午前・午後(24人) 講師: 当館学芸員	6/17	見学: JREU OB会(26人)
5/13	見学: 青森県立八戸高等学校4期会(23人)/津軽フラワー会(30人)	6/19	ボランティア養成講座③(26人) 講師: 当館学芸員 取材: 雑誌SWITCH(9人) 見学: NHK野外講座(12人)/鶴盟大学(9人)/コープあおもり 弘前文化委員会(43人)/オールユニバースユニオン(59人)
5/15	講話・見学: ふるさとの味倶楽部(19人) 講師: 館長 見学: 長生園デイサービスセンター(15人)	6/21	ミニ合掌土偶作り・見学: 南部町立南部小学校6年(21人) ペンダント作り・見学: 青森県立第二養護学校高等部1・3年(20人) 縄文土器作り・見学: 南部町立杉沢中学校1・2年(27人) 見学: 長和会(30人)/グループホーム舟見会(9人)
5/16	見学: 長生園デイサービスセンター(14人)	6/22	ボランティア養成講座④(23人) 講師: 当館学芸員 講話・見学: 八戸自由大学(27人) 講師: 館長
5/17	見学: ひまわりサロン(37人)/デイサービスセンターさるかどした(10人)/ 長生園デイサービスセンター(15人)	6/23	考古学講座③(37人) 講師: 長田友也氏 見学: 是川二丁目町内会(26人)/いこい苑(24人) 視察: 二戸地区文化財調査委員等連絡協議会(15人)
5/18	見学: デイサービスセンターさるかどした(10人) 視察: 青森県教育庁学校教育課(1人) 縄文土器野焼き	6/24	見学: 小沢口福寿会(13人)/六ヶ所村立郷土館(14人)
5/19	シカの角でペンダント作り教室(24人) 見学: 青森県退職高等学校長会(46人)/デイセンターさるかどした(8人)	6/26	ボランティア養成講座⑤(20人) 講師: 当館学芸員 見学: 小規模多機能施設りんごっこ寿楽荘(8人)/どんくりビレッツ(12人)
5/20	視察: 北海道開拓記念館(1人) TV撮影: 東北朝日プロダクション(4人) 撮影: 八戸青年会議所(3人)	6/27	見学: 十和田市東公民館(20人)/小規模多機能施設りんごっこ寿楽荘(7人)
5/22	見学: 福寿草(13人) 取材: 岩手日報社(1人)	6/28	縄文土器作り・見学: 階上町立石鉢小学校6年(47人) 見学: クローバースピアこもれびの家(12人)/上北地区公民館クラブ(56人)/ 小規模多機能施設りんごっこ寿楽荘(8人)
5/23	見学: こまざわ幼稚園(99人)/八戸短期大学(59人)/類家婦人会(20人)/ 福寿草(10人) 取材: 八戸テレビ(3人)	6/29	ボランティア養成講座⑥(23人) 引率: 当館学芸員 がつがる市 取材: デーリー東北新聞社(1人) 見学: 新井田コープ委員会(20人)
5/24	見学: 根岸公民館高齢者教室(39人)/国際ソロプチミスト(14人) 取材: 備前エフエム放送局(1人)	6/30	ボランティア養成講座⑦(21人) 講師: 当館学芸員 縄文土器野焼き(21人) 縄文土器作り: 個人(2人) 取材: 中国テレビ局(11人) 見学: 乙供婦人会(12人)/八戸短期大学(2人)
5/25	ワークショップ「縄文時代の野焼き方法を考える」(16人) 講師: 北野博司氏 ミニ合掌土偶作り・講話: 八戸市総合教育センター初任者研修(9人) 講師: 館長 於総合教育センター 見学: 八幡平市民センター(48人)/福寿草デイサービスセンター(9人) 取材: 商店卸振興組合(2人)	7/1	見学: 青森県民生活文化課県史編さんグループ(10人)
5/26	考古学講座①(43人) 講師: 北野博司氏 見学: 藝館友愛会(30人)	7/3	見学: ひがしの団地へいせい会(23人)/花北地区コミュニティ協議会(41人)
5/27	取材: NHK八戸支局(1人)	7/4	火起こし・勾玉作り・見学: 青森県立甲田中学校2年(6人) 視察: JTB北海道(2人)
5/29	火起こし・見学: 南部町立杉沢小学校6年(11人) 取材: 八戸テレビ(3人)	7/5	見学: 八戸市立高館小学校4年(57人)/青森県企画調整課主催 「首都圏ブレスツアー」(17人)
5/30	見学: エム・オー・エー・美術文化財団八戸支部(21人) 取材・視察: MIHOミュージアム(3人)	7/6	見学: 三八城公民館(91人)/南郷歴史民俗資料館(13人) 耳飾り作り・見学: みどりの風保育園(31人)/桔梗野幼稚園(35人)
5/31	縄文土器作り・見学: 新郷村立戸来小学校6年(24人) 取材: 角川マガジンス「毎日が発見」編集グループ(5人)	7/7	ボランティア学習会①(18人) 講師: 縄文是川ボランティア 開館一周年記念行事「学芸員とめぐる是川遺跡ツアー」午前・午後(20人)
6/1	ペンダント作り・見学: 三沢市立おぞら小学校6年(24人) 縄文土器作り・見学: 青森県立八戸第一養護学校高等部1・2年(19人) 講話・見学: 上北教育事務所派遣社教主事研修(7人) 講師: 館長	7/8	開館一周年記念行事「学芸員とめぐる是川遺跡ツアー」午前・午後(11人) 開館一周年記念行事「縄文グッズ抽選会」(56人)
6/2	見学: はまぎくの会(26人)	7/10	開館一周年記念無料開放/いのるん付おちよこプレゼント/「バックヤードツ アー」午前・午後(44人)/「縄文グッズ販売フェア」(~7/24) 見学: 八戸生活と健康を守る会(26人)/八戸警察署(17人)
6/3	見学: 南万丁目親交会(45人)	7/11	見学: 青森県教育庁学校教育課アフリカ人留学生交流会(14人)/ せいちょうの家(8人)/トラベル四季(25人)/東北大学植物園(4人)/ (糊ゆとり1班(12人)・2班(12人))
6/4	縄文土器作り・見学: 白銀南中学校1年(125人)	7/12	見学: 八戸工業大学感性デザイン科(5人)
6/5	見学: 千田町老人クラブ長寿会(27人) 講話: 生き生き教室(24人) 講師: 村木淳 於白銀公民館	7/14	見学: 弘前大学日本考古学研究室(24人)/セイコーエプソンアトミックス(4人) 合掌土偶作り教室(5人)
6/6	火起こし・見学: 青森県立八戸第一養護学校中学部3年(6人) 見学: 青森県企画調整課(3人)	7/16	見学: つがる市歴史さんぽの会(25人)/三戸消防団(35人)
6/7	ペンダント作り・見学: 八戸工業大学第二高等学校2年(35人) 見学: 八戸市立根城小学校5年(84人)/つるしん年金友の会(196人)	7/18	縄文土器作り・見学: 八戸市立旭ヶ丘小学校6年(81人) 八戸市立田代中学校2年グッジョブ(1人)
6/8	見学: 青森県立百石高等学校1年(162人)/江陽地区老人クラブ(52人)	7/19	縄文土器作り・見学: 南部町立福田小学校6年(20人) 見学: 小中野公民館八千草大学(39人)
6/9	企画展ギャラリートーク: 午前・午後(39人) 講師: 当館学芸員 考古学講座②(45人) 講師: 会田容弘氏 ペンダント作り: 個人(2人) 見学: 中央児童会館(33人)	7/20	見学: 全国地場産業協会(31人)/田瀬地区コミュニティ会議(34人)
6/10	見学: 青森県ふるさと同友会(20人)/安代漆工技術研究センター(2人)	7/21	縄文土器作り・見学: 正法寺子ども会三条小学校全学年(14人) 共同研究調査(~7/22) 東京大学環境史研究室・当館学芸員
6/12	見学: 岩手県立久慈高等学校30年卒業生同級会(24人)/白銀公民館(40人) /六戸町連合婦人会(25人) ワークショップ再実施(20人)	7/22	火起こし・見学: 軽米町立晴山小学校6年(29人) 見学: 八戸市立明治小学校6年親子レク(79人)/東北文化研究センター(6人)
6/13	火起こし・見学: 八戸市立島守小学校親子レク6年(35人) 見学: 紫波郷土誌同好会(26人)		
6/14	見学: 社会福祉法人道友会いこい苑(28人) 縄文土器作り・見学: 青森県立八戸第一養護学校中学部3年(12人) ボランティア養成講座⑧(28人) 講師: 当館学芸員		
6/15	見学: グループホームふくち(14人)/いこい苑(33人) 視察: 文化庁記念物課(3人)		

年/月/日	事項	年/月/日	事項
7/26	見学: 八戸市統計協会(32人)	9/11	板状作り・見学: 八戸市立是川小学校2年(28人)
7/27	見学: 胆沢やまゆり会(11人)/ 洞内駐在所連絡協議会(18人) 板状土器作り・見学: 三戸郡中学校社会科教育研修会(12人) 縄文土器野焼き(23人) 野焼き視察: 三沢市教育委員会(1人) 派遣: 三沢市教育委員会主催「縄文土器作り講座」 講師: 縄文是川ボランティア 於三沢市歴史民俗資料館(27人)	9/12	ペンダント作り・見学: 八戸市立是川小学校1年(40人)・ 是川東小学校1-3年(7人) 見学: 八戸短期大学(108人)
7/28	見学: グループホームほおずき(12人)	9/13	見学: 八戸市立轟木小学校6年(17人)・八戸市立多賀小学校6年(29人)
7/29	縄文土器作り・見学: 浪谷子ども会(23人)	9/14	見学: 八戸市立新井田小学校6年(99人)/ 鷗盟大学(8人)
8/1	見学: 青森県立八戸第一養護学校高等部(2人)/ 八戸市市立八戸東高等学 校七回生(21人)/ あぐら塾(23人)	9/15	見学: しんじゅ俳句会(13人)/ エース塾(16人)
8/2	見学: 吉田会(20人)	9/19	見学: 函南保育園(42人)
8/3	見学: 平成・南部藩寺子屋交流事業(38人)/ 八戸工業高等専門学校(4人) 下見: 養護老人ホーム長生園(1人)	9/20	土製耳飾作り・見学: 青森県立八戸第二養護学校小学部4年(4人) 見学: クローバースピア八戸東(58人)
8/5	縄文土器作り・拓木作り・見学: はちのへ青年カダリスタ(6人) 見学: 三八五流通(5人) 視察: 大船渡市立博物館(1人)	9/21	見学: 八戸東ロータリークラブ(44人)
8/7	縄文土器作り: 個人(3人) 特別展内覧会(5人)	9/22	シカの角で釣針作り教室(5人)
8/9	見学: 青森県市議会議長会(14人)	見学: 久慈市米内小学校PTA(36人)/ 東信九館貯金会(10人)	
8/10	縄文土器・勾玉作り: 個人(3人) 取材: 八戸テレビ(4人)/ 岩手日報社(1人)	9/25	見学: NPOふるさと文化研究会(12人)/ みちのく記念病院デイケア(10人)/ 市川公民館(46人)/ 階上町母子寡婦福祉会(17人)/ 函館市博物館友の会(12人)
8/17	火起こし(縄文まつり点火式練習): 是川小学校6年(3人)	9/26	見学: 講話: 東高校母親委員会読書クラブ(35人) 講師: 館長 見学: みちのく記念病院(11人)/ 報效寺(20人)
8/18	見学: 弘前大学考古学研究室(3人)	9/27	見学: みちのく記念病院(8人)/ 野辺地町役場OB会(24人)/ 松平病院(21人) / 五戸町在宅介護者の会(24人)
8/19	これかむ縄文まつり(700人) 於分館/ 縄文まつり縄文体験コーナー(297人) 見学: 三戸小学校6年親子レク(115人)/ 八戸母子寡婦福祉会(76人)	9/28	ペンダント作り・見学: 青森県立八戸第一養護学校高等部1年親子レク(30人) 見学: 秋田県教職員互助会(46人)/ 青森県退職女教師の会(22人)
8/21	見学: 大館公民館(10人)/ まべちの風(8人)/ 白銀デイサービス(11人) 取材: 八戸テレビ(4人)	9/29	講話・見学: 八戸ベンクラブ主催 三市ベンクラブ交流会(27人) 講師: 館長
8/22	見学: 八幡平老人大学(37人)/ まべちの風(8人)/ 白銀デイサービスセンター(14人)/ 青森県文化財保護課(5人)	9/30	見学: 新老人の会(13人)
8/23	勾玉作り・見学: 八戸地域防災協会おいらせ消防署ブロック(20人) 見学: 早稲田大学エクステンションセンター(23人)/ 長生園(17人)/ 白銀デイサービスセンター(12人)	10/1	見学: 八戸市南郷文化ホール(9人)/ 横浜町赤十字奉仕団(26人)
8/24	見学: 中弘陣者総代会(41人)/ 白銀デイサービスセンター(13人) 視察: 五城目町教育委員会文化財保護審議会(7人)	10/2	縄文土器作り講座①「素地土作り」(13人) 講師: 当館学芸員
8/25	特別展考古学講座(48人) 講師: 榎宜佳男氏 縄文土器作り・見学: おいらせ町立下田小学校5年(49人) 見学: 白銀デイサービスセンター(10人)	10/3	遮光器土器作り・見学: 三沢市ソラーズ小学校6年(26人)
8/26	見学: 白銀デイサービスセンター(9人)	10/4	ペンダント作り・見学: 八戸市立城下小学校6年親子レク(101人) 見学: 縄文の森広場(30人)/ 青森県立十和田西高等学校(210人)
8/28	見学: 白銀デイサービスセンター(5人)	10/5	縄文土器作り講座②「縄文土器作り」(13人) 講師: 当館学芸員 ミニ合掌土器作り・見学: 洋野町立中野小学校4年(23人) 見学: 八戸市立湊小学校5年(62人)
8/29	ミニ合掌土器作り: 八戸市立是川小学校4年(43人) 見学: 岩手県立博物館(2人)/ 日計ヶ丘いきいきサロン(21人)/ 花巻市博物館(3人)/ 白銀デイサービスセンター(8人) 講話: 生き活き教室(24人) 講師: 当館副参事 於白銀公民館	10/6	取材: 北海道新聞社東北支局(1人) 縄文土器野焼き(19人)
8/30	見学: MOA美術文化財団八戸支部(6人)/ あたごの会(20人)/ 北秋田市ボランティアガイド研修(12人)/ 白銀デイサービスセンター(5人)	10/8	見学: ホットサロンむらさきの会(25人)
8/31	見学・講話: 八戸自由大学(22人) 講師: 館長	10/10	見学: 青森県立八戸高等学校1年(290人)
9/1	見学: 階上町教育委員会(13人)/ 桔梗野学区生涯学習(25人)/ 五戸町立五戸中学校34年度卒業生(24人)	10/11	見学: 社団法人西北労働基準協会(12人)/ ゆう ゆう あらや(20人)
9/2	見学: 自治大学校全国の集い(48人)/ 一葉会(22人)/ 中央ライオンズクラブ家族会(21人)	10/12	見学: 田面木公民館(24人)
9/3	ミニ合掌土器作り: 個人(2人) 見学: 花巻市博物館博学連携委員会(7人)	10/13	見学: 大迫信朋会(41人)
9/4	八戸市立大館中学校グッジョブ(2人)	10/14	見学: 弘前市立博物館後援会(28人) 取材: BeFM(1名)
9/5	遮光器土器作り: 八戸市立是川小学校6年(46人)・是川東小学校4・6年(5人) 見学: 十和田市食生活改善推進委員会(31人) 大館中学校グッジョブ(2人)	10/16	見学: 下組町第一老人クラブ(20人)
9/6	縄文土器作り: 八戸市立是川小学校5年(32人) 見学: むつ公民館(56人) 大館中学校グッジョブ(2人)	10/17	遮光器土器作り・見学: 三沢市ソラーズ小学校6年(22人)
9/7	縄文の布を編む講座(4人) 見学: 昭和女子大学考古学研究室(18人) 縄文土器作り: 八戸市立是川小学校3年(40人)	10/18	見学: 自衛隊青森県遺族会(28人)/ 第六区高齢者ホットサロン(20人)/ 青森県構造政策課(8人) 取材: RAB青森放送(2人)
9/8	見学: 八戸市立吹上小学校卒業生(10人)	10/19	講話・見学: 八戸自由大学(20人) 講師: 館長 見学: 八戸婦人経営セミナー(9人)
9/9	表敬訪問: 復興庁津川政務官(6人) 見学: 宮城県文化財保護課(5人)	10/20	トチの実を食べる教室(10人) 於縄文学習館 縄文土器作り・見学: 南部町立福田小学校5年親子レク(65人)
9/11	見学: 久慈市役所やまね公民館(19人)/ JREU(25人)	10/23	見学: 八戸市立柏崎小学校6年(80人)/ 六戸町納税貯蓄組合(33人)
		10/24	見学: 瑞光岡町畑の家(9人)
		10/25	見学: 七戸町史跡勉強会(8人)/ 七戸町お話の会ゆりかご(8人)
		10/27	企画展考古学講座(34人) 講師: 成田彦彦氏 見学: 八戸市庁サッカー部(30人)/ 東北町立小川原小学校PTA(16人)
		10/28	見学六戸町地域公民館連絡協議会(15人)/ ADK(13人)/ 弘前大学人文学部考古学研究室(2人)
		10/30	縄文土器作り講座③「縄文土器野焼き」(17人) 縄文土器野焼き(17人) 見学: 寺向長寿クラブ(23人)/ おいらせ町青葉町内会(27人)
		10/31	見学: みちのく記念病院(8人)
		11/1	見学: みちのく記念病院(9人)/ 青森県土改改良調査設計技術協会(40人)
		11/2	講話・見学: 鷗盟大学(82人) 講師: 当館学芸員

年/月/日	事項	年/月/日	事項
11/2	見学:舟形町まちづくり審議会(18人)/南郷歴史民俗資料館(16人)	12/24	見学:櫛三沢奥入瀬観光(4人)
11/3	見学:盛岡農業高校PTA研修旅行(31人)	12/26	勾玉作り・見学:田子町すくすく倶楽部(35人) 取材:青森テレビ(2人)
11/4	研修:NTTDoCoMo(5人)	1/5	見学:櫛三沢奥入瀬観光(9人)
11/5	見学:八戸市立根岸小学校6年(54人)	1/8	見学:櫛三沢奥入瀬観光(14人)
11/8	火起こし・見学:陸上町立陸上小学校5・6年(8人) 視察:観光戦略アドバイザー(4人)	1/11	ボランティア指導方法研究会:ミニ合掌土偶(14人)
11/9	土製耳飾り作り・見学:八戸市立鮫中学校3年(95人) 火起こし・勾玉作り・見学:八戸市民病院(23人) 見学:十和田市立十和田中学校1・3年(42人)/ 県南地区消防連絡協議会(7人)/洋野町大町老人クラブ(10人)	1/12	縄文の布を編む教室(5人) 見学:櫛三沢奥入瀬観光(4人)
11/10	見学:是川保育園(19人)/日本ケルト協会(13人)	1/13	見学:八戸工業高等専門学校(65人)/櫛三沢奥入瀬観光(11人)
11/11	火起こし・見学:南部町立福岡小学校4年親子レク(57人) 講演:MIHO MUSEUM秋季特別展覧会 国宝土偶フォーラム 講師:当館学芸員 見学:東北地区信用金庫協会(7人)	1/16	ボランティア養成講座①(22人) 講師:館長
11/13	見学:シーニックバイウェイ北海道函館・大沼・噴火湾ルート(5人)	1/17	縄文土器作り・見学:上社連社会教育委員会(49人)
11/14	縄文土偶作り・見学:三沢市ソラズ小学校6年(23人) 見学:森町教育委員会(1人)	1/18	見学:櫛三沢奥入瀬観光(14人)
11/15	見学:東北町身障者福祉会(21人)	1/19	ボランティア養成講座②(19人) 講師:当館学芸員
11/16	遮光器土偶頭部の皿作り・見学:三沢市カミングス小学校幼稚園部(52人) ペンダント作り・見学:八戸第一養護学校小学部5・6年(5人) 見学:櫛全国公立文化施設協会東北支部(20人)	1/22	ボランティア養成講座③(22人) 講師:当館学芸員 拓本作り・見学:八戸市立大久喜小学校6学年(11人)
11/17	遺跡調査報告会(82人) 火起こし・見学:ケアホーム青風荘(21人)	1/23	視察:樞原考古学研究所(2人)
11/20	勾玉作り・見学:青森県地域活動連絡協議会(88人) 取材:東奥日報(1人)	1/24	見学:京都大学文学研究科GCOE研究室(3人)/櫛三沢奥入瀬観光(9人)/ 視察:イコモス考古学遺産管理委員会専門委員(5人)
11/22	勾玉・ペンダント作り・見学:慶應義塾大学教養研究センター(15人) 見学:花巻商工会議所石鳥谷地域運営協議会(14人)	1/25	ボランティア養成講座④(20人) 講師:当館学芸員 見学:櫛三沢奥入瀬観光(13人) 取材:八戸テレビ(3人)
11/23	火起こし等:個人(3人) 見学:福島県まほろん(2人)/盛岡市学びの館(9人)	1/26	考古学講座⑤(59人) 講師:辻誠一郎氏 取材:東コープ委員会(5人)
11/24	ドングリを食べる教室(12人) 於縄文学習館 見学:講話:世界遺産候補地の「貝塚」探訪(40人) 講師:館長	1/27	発表:世界遺産フォーラム 講師:当館学芸員 於東京有楽町マリオン 見学:櫛三沢奥入瀬観光(11人)
11/26	共同研究調査(～11/27) 東京大学環境史研究室・当館学芸員	1/29	ボランティア養成講座⑤(19人) 講師:当館学芸員 講話:長者・吹上・中居林連合町内会(50人) 講師:当館副参事 於長者公民館
11/27	見学:八戸第二養護学校中等部(14人)/東京大学環境史研究室(4人)	1/30	見学:青森県企画調整課(2人)
11/28	縄文土器野焼き(22人)	1/31	見学:八戸市観光課(4人)/JR東日本八戸地区指導センター(2人)
11/29	見学:八戸市立桔梗野小学校6年(9人)	2/1	見学:櫛三沢奥入瀬観光(16人) 講話:二戸地方老人クラブ連合会(89人) 講師:館長 於グランドサンピア八戸
11/30	ペンダント作り:ソラズ小学校2年(109人) 縄文土器作り:名川南小学校(87人)	2/2	ボランティア養成講座⑥(23人) 講師:当館学芸員
12/1	見学:株式会社ブルボン(8人)/櫛サンビクトリー(4人)	2/3	見学:櫛三沢奥入瀬観光(4人)
12/2	見学:是川地区地域振興会(4人)/東京青森県人会(11人)	2/5	ボランティア養成講座⑦(25人) 講師:栗村知弘氏 見学:JR東日本八戸地区指導センター(10人)/青森県立郷土館(14人)/ JR盛岡(4人)
12/3	見学:JATA東北復興支援専任プロジェクト(20人) 取材:NHK八戸支局(2人)	2/6	見学:八戸圏域水道企業団(4人)/奥松島縄文村歴史資料館(6人)
12/4	見学:櫛三沢奥入瀬観光(4人)	2/7	ボランティア指導方法研究会:遮光器土偶頭(6人) 見学:櫛三沢奥入瀬観光(2人)
12/5	見学:八戸市社会福祉協議会(23人)	2/8	取材:公益社団法人青森県観光連盟(4人) 撮影:櫛ホールマン(2人) 見学:櫛三沢奥入瀬観光(9人)
12/6	見学:八戸観光コンベンション協会(7人)/山友会(14人)/ 八戸工業大学第一高等学校3学年(69人)/櫛三沢奥入瀬観光(7人)	2/9	ボランティア養成講座⑧(12人) 講師:後村弘樹氏 縄文土器作り教室(12人) 見学:愛媛経済同友会(13人)/JA八戸女性部川内地区(34人)/ 櫛三沢奥入瀬観光(8人)
12/7	見学:櫛三沢奥入瀬観光(20人)	2/10	見学:櫛三沢奥入瀬観光(32人)
12/8	考古学講座④(42人) 講師:田口洋美氏	2/15	見学:櫛三沢奥入瀬観光(10人)
12/9	見学:軽米町立笹渡小・中学校PTA(26人)/櫛三沢奥入瀬観光(10人)/ 八戸観光課三陸ジオパーク推進協議会(29人) 視察:櫛インテリジェント・リンク(1人)	2/16	見学:櫛三沢奥入瀬観光(2人)/八戸地区整理協議会(7人)/ 社団法人八戸観光コンベンション協会(34人) 考古学講座⑥(64人) 講師:佐々木由香氏
12/11	見学:伊達市噴火湾文化研究所(2人)	2/17	かがり火えんぶり火起こし:八戸市立白山台小学校6年 於八戸市庁前広場 見学:櫛三沢奥入瀬観光(9人)/櫛びゅうトラベルサービス(14人)
12/12	取材:地域ブランド推進委員会「必殺ミチカル」番組撮影(4人)	2/18	見学:JTB東京(11人)
12/13	見学:おいらせ町下田小学校6年生(27人)	2/19	ボランティア養成講座⑨(23人) 講師:前田なつみ氏 見学:櫛三沢奥入瀬観光(4人) 視察:板橋区立美術館(2人)
12/14	見学:櫛三沢奥入瀬観光(10人)	2/20	協議:八戸北高等学校SSH(1人)
12/15	見学:櫛三沢奥入瀬観光(3人) 研修:北海道庁渡島総合振興局縄文サポーター育成プログラム(32人) 発表:世界遺産登録推進フォーラム 講師:館長 於青森県観光物産館	2/21	見学:東奥日報社(櫛)観光部(19人)/藤沢商工会議所(2人)
12/16	見学:八重坂町内敬友会(30人)	2/22	板状土器作り・見学:陸上町小舟渡小学校5・6年生(19人) 見学:小牧温泉(93人)/櫛三沢奥入瀬観光(12人)
12/18	火起こし・勾玉作り・見学:洋野町商工会女性部(12人) 勾玉作り・見学:田面木小学校6学年親子レク(111人) 見学:櫛三沢奥入瀬観光(5人)	2/23	ボランティア養成講座⑩(8人) 講師:後村弘樹氏 見学:瑞豊館(43人)
12/22	縄文土器拓本教室(8人)	2/24	見学:小牧温泉(99人)
12/23	見学:櫛三沢奥入瀬観光(13人)	2/26	見学:櫛三沢奥入瀬観光(17人)/東北学院大学博物館(1人)
		3/1	ボランティア指導法研究会:ミニ合掌土偶作り(9人)

年/月/日	事項	年/月/日	事項
3/1	見学: 三沢奥入瀬観光(2人)		見学: 三沢奥入瀬観光(13人)/JR東日本企画盛岡支店(40人)
3/2	ボランティア学習会②「縄文土器作り」(21人) 講師: 縄文是川ボランティア 見学: 三沢奥入瀬観光(6人)	3/17	見学: 三沢奥入瀬観光(6人)/JR東日本企画盛岡支店(38人)
3/4	火起こし・見学: 百石幼稚園(27人)	3/19	ボランティア養成講座④「板状土偶作り」(16人) 講師: 縄文是川ボランティア 見学: 三沢奥入瀬観光(6人)
3/5	見学: 妙光園(45人)/三沢奥入瀬観光(6人) 視察: 五戸町教育委員会(7人)	3/22	見学: 三沢奥入瀬観光(13人) 視察: 八戸市老人クラブ連合会
3/8	見学: 三沢奥入瀬観光(18人)	3/23	縄文土偶作り教室(14人)
3/9	ボランティア学習会③「合掌土偶作り」(23人) 講師: 縄文是川ボランティア 見学: JR東日本企画盛岡支店(34人)		ボランティア学習会④「土製耳飾り作り」(22人) 講師: 縄文是川ボランティア
3/10	見学: JR東日本企画盛岡支店(21人)/三沢奥入瀬観光(4人)	3/24	見学: 三沢奥入瀬観光(23人)
3/13	見学: 八戸市社会福祉協議会「シニアいきいき講座」(42人)	3/26	見学: 三沢奥入瀬観光(6人)
3/15	見学: 三沢奥入瀬観光(11人)	3/28	見学: 三沢奥入瀬観光(10人)
3/16	ボランティア学習会⑤「縄文の布を編む」(15人) 講師: 縄文是川ボランティア	3/29	ボランティア養成講座⑤「博物館研修」(26人) 引率: 当館学芸員 見学: 三沢奥入瀬観光(6人)
		3/30	ボランティア学習会⑥「勾玉作り」(21人) 講師: 縄文是川ボランティア

3. 来館者利用状況

月	個人				団体				減免入館者					有料 観覧者	全額免除 観覧者	講座等 入館者	本館 入館者 総計	開館 日数	平均 入館者	分館 入館者 総計	総計
	一般	大・高	小・中	計	一般	大・高	小・中	計	障がい	介護	高齢	優待	計								
4月	1,048	20	60	1,128	130	1	54	185	11	5	116	5	137	1,450	392	411	2,253	27	83	325	2,578
5月	1,659	37	138	1,834	322	61	84	467	19	9	404	4	436	2,737	782	452	3,971	28	142	552	4,523
6月	909	13	42	964	716	187	104	1,007	18	9	357	1	385	2,356	539	458	3,353	27	124	384	3,737
7月	969	21	72	1,062	389	0	33	422	14	8	177	3	202	1,686	809	522	3,017	27	112	284	3,301
8月	2,600	108	368	3,076	213	0	25	238	35	27	322	3	387	3,701	2,299	642	6,642	29	229	1,253	7,895
9月	1,396	57	65	1,518	516	104	14	634	89	19	198	0	306	2,458	895	438	3,791	27	140	300	4,091
10月	1,068	17	50	1,135	324	466	60	850	22	8	181	2	213	2,198	457	379	3,034	27	112	255	3,289
11月	620	14	30	664	216	0	169	385	54	10	164	1	229	1,278	658	370	2,306	27	85	152	2,458
12月	354	4	9	367	146	67	60	273	5	4	55	1	65	705	195	213	1,113	23	48	48	1,161
1月	400	8	22	430	53	0	0	53	3	4	23	1	31	514	143	298	955	24	40	64	1,019
2月	497	9	22	528	332	0	0	332	6	4	17	3	30	890	108	346	1,344	26	52	40	1,384
3月	576	29	48	653	148	0	3	151	43	27	83	3	156	960	158	338	1,456	27	54	107	1,563
計	12,096	337	926	13,359	3,505	886	606	4,997	319	134	2,097	27	2,577	20,933	7,435	4,867	33,235	319	104	3,764	36,999

4. 八戸市内小中学校利用状況

入館日	学校名	人数	入館日	学校名	人数	入館日	学校名	人数	入館日	学校名	人数
4/20	白銀南小学校6年	114人	6/7	根城小学校5年	78人	9/13	轟木小学校6年	16人	11/9	鮫中学校3年	90人
4/26	田代小学校5・6年	6人	6/13	島守小学校5年	17人	9/13	多賀小学校6年	27人	11/16	第一養護学校 小学部5・6年	3人
5/1	江南小学校5・6年	48人	6/14	第一養護学校 中学部3年	6人	9/14	新井田小学校6年	95人	11/27	第二養護学校 中学部2年	10人
5/1	中居林小学校6年	60人	7/5	高館小学校4年	53人	9/20	第二養護学校 小学部4年	2人	11/29	桔梗野小学校6年	7人
5/2	吹上小学校6年	106人	7/18	旭ヶ丘小学校6年	78人	10/4	城下小学校6年	56人	12/18	田面木小学校6年	61人
5/2	白山台小学校6年	149人	7/22	明治小学校6年	41人	10/5	湊小学校5年	57人	1/22	大久喜小学校6年	9人
6/4	白銀南中学校1年	119人	9/12	是川小学校1年	42人	10/23	柏崎小学校6年	78人	計30校 1,484人		
6/6	第一養護学校 中学部3年	2人	9/12	是川東小学校 1・2・3年	4人	11/5	根岸小学校6年	50人			

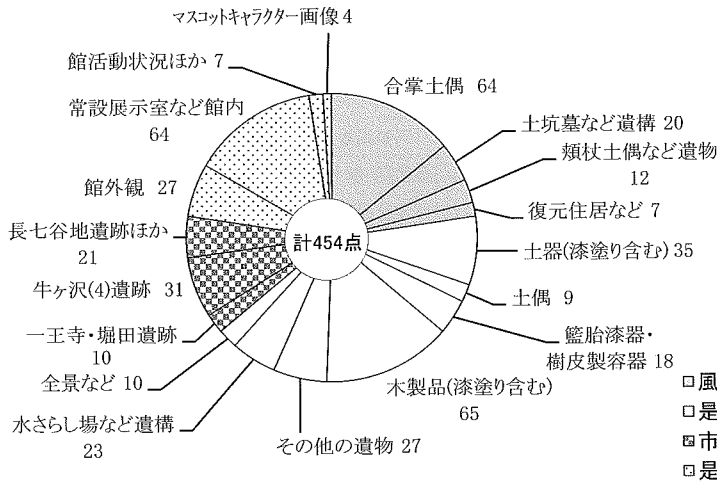
5. 資料利用状況

(1) 映像資料

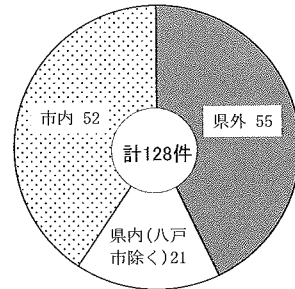
平成24年度は、申請数128件、合計454点の映像資料の使用申請があった。前年に比べて申請数が20件ほど減少したものの、資料の点数が120点近く増加した。これは、「青森県史 資料編考古2 縄文後期・晩期」掲載に関する写真貸し出しが140点あったことによるものである。種別では、国宝「合掌土偶」が前年に続いて多い。また、木製品をはじめとする是川中居遺跡関連資料187点で全体の3分の1以上を占めている。

貸し出し依頼先の件数は、八戸市内よりも県外がやや多い結果となった。最も遠方の依頼先は九州地方の福岡県からであり、全国的に当館収蔵資料が注目されていることがわかる。

映像資料利用種別内訳



映像資料利用依頼先内訳



- 風張1遺跡関係
- 是川中居遺跡関係
- 市内遺跡関係
- 是川縄文館関係

平成24年度映像資料利用依頼一覧

番号	申請者	資料名	点数	利用方法	許可	掲載先
1	㈱創童舎	是川縄文館外観	1	写真貸与・掲載	4/2	河北新報社『春のおでかけガイド2012』
2	津南町教育委員会	風張1遺跡 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	4/5	『津南学 創刊号』
3	芝浦工業大学中学高等学校	風張1遺跡 合掌土偶	1	写真転載	4/20	芝浦工業大学中学校入試問題・学校説明会
4	㈱ビデオマガジン	風張1遺跡 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	4/20	『fanemone6月号』
5	㈱フィーラステーション	是川縄文館外観	1	写真貸与・掲載	4/25	タウン誌『FEELER5月号』
6	若松 秀遠	風張1遺跡 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	4/26	青森県退職互助会三八支部設立25周年記念式典
7	㈱講談社エディトリアル	是川中居遺跡 岩板	2	写真転載	4/26	山陰基史著『出雲と伊勢 神道の叢書』
8	詩劇『縄文の花』上演の会	風張1遺跡 合掌土偶	1	写真貸与・映写	4/26	劇中映写
9	デーリー東北新聞社	企画展示室	1	写真撮影・掲載	4/28	日刊紙掲載
10	一般社団法人共同通信社青森支局	是川中居遺跡 籠形木製品集合	1	写真貸与・掲載	4/28	配信記事
11	㈱スタジオ大島	是川縄文館館内	1	写真撮影・掲載	5/1	八戸市立中居林小学校卒業アルバム制作
12	㈱スタジオ大島	是川縄文館館内	1	写真撮影・掲載	5/1	八戸市立白山台小学校卒業アルバム制作
13	㈱スタジオ大島	是川縄文館館内	1	写真撮影・掲載	5/2	八戸市立吹上小学校卒業アルバム制作
14	秋田県生涯学習課文化財保護室	是川中居遺跡 漆塗り櫛ほか	4	写真貸与・展示	5/8	世界遺産登録に向けた縄文遺跡群写真展
15	㈱悠工房	風張1遺跡 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	5/8	他社発行の教材『明光講習テキスト社会マスター歴史』
16	岩手県立博物館	風張1遺跡 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	5/12	第63回企画展『土偶まんだら』
17	MIHO MUSEUM	風張1遺跡 合掌土偶ほか	4	写真撮影・掲載	5/15	平成24年秋季特別展『土偶・コスモス展』
18	朝日新聞社青森総局	一王寺(1)遺跡 発掘調査風景ほか	2	写真貸与・掲載	5/19	日刊紙ほか掲載
19	㈱東北朝日プロダクション	風張1遺跡 合掌土偶	2	テレビ撮影・放送	5/20	番組『東北の聖地を訪ねて』
20	社団法人八戸青年会議所	風張1遺跡 合掌土偶ほか	4	写真撮影・掲載	5/20	第64回全国会員大会誘致活動PR
21	一般財団法人日本教育再生機構	風張1遺跡 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	5/22	機関紙『教育再生6月号』
22	社団法人八戸観光コンベンション協会	是川縄文館外観	1	写真貸与・掲載	5/22	八戸ふるさと検定改訂版
23	㈱アム・プロモーション	風張1遺跡 合掌土偶ほか	3	写真貸与・掲載	5/22	カレンダー『縄文土器2013』
24	コミュニティ放送局㈱ビーエフエム	企画展示室	1	写真撮影・放送	5/24	番組『突撃!はちのへオジャマ隊』
25	商店街振興組合三日町三栄会	是川縄文館外観ほか	2	テレビ撮影・放送	5/25	第一興商DAMカラオケ映像
26	時事通信社文化部	風張1遺跡 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	5/25	配信記事『ニッポン美術探検隊』
27	NHK八戸支局	企画展示室	1	テレビ撮影・放送	5/27	ニュース番組
28	田中 昇	常設展示室	1	写真撮影・掲載	5/29	申請者HP
29	㈱八戸テレビ放送	企画展示室	1	テレビ撮影・放送	5/29	ニュース番組
30	㈱グランフォート	是川縄文館館内	1	写真撮影・掲載	5/29	南部町立杉沢小学校卒業アルバム制作
31	MIHO MUSEUM	是川縄文館館内	1	写真撮影・掲載	5/30	平成24年秋季特別展『土偶・コスモス展』
32	学校法人河合塾	是川中居遺跡 赤漆塗り壺形土器	1	写真貸与・掲載	6/1	『2012年度基礎シリーズ私大日本史テスト』問題
33	㈱学研教育出版 デジタルコンテンツ制作部	是川中居遺跡 籠形木製品集合	1	写真貸与・掲載	6/7	国立科学博物館発行『mitsi』第28号』

番号	申請者	資料名	点数	利用方法	許可	掲載先
34	社団法人八戸観光コンベンション協会	風張1遺跡 合掌土偶ほか	2	写真貸与・掲載	6/12	『八戸観光案内ナビゲーションシステム』コンテンツ
35	自治大学校第65期生同期会	風張1遺跡 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	6/12	同期会ネームプレート
36	オオヤ設計スタジオ	是川縄文館外観ほか	6	写真貸与・掲載	6/12	青森県建築士学会発行『けんちくし第152号』
37	情情報企画	是川中居遺跡 鉢形木胎漆器出土状況ほか	10	写真貸与・掲載	6/22	『月刊ISM8月号・9月号』
38	八戸市観光課	是川縄文館館内	1	テレビ撮影・放送	6/30	旅番組
39	八戸市博物館	重地遺跡全景写真ほか	12	写真貸与・掲載	7/3	平成24年特別展『縄文人の一生』
40	東奥日報社	是川縄文館館内	1	写真撮影・掲載	7/7	日刊紙掲載
41	コミュニティ放送局(関ビーエフエム)	是川縄文館館内	1	写真撮影・放送	7/10	番組『突撃! はちのへオジャマ隊』
42	デーリー東北新聞社	是川縄文館館内	1	写真撮影・掲載	7/10	日刊紙掲載
43	写真工房おおすか	是川縄文館外観	1	写真撮影・使用	7/11	ポストカード制作
44	関青森テレビ	風張1遺跡 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	7/18	青森県立郷土館『土曜セミナー』
45	東北電力関青森支店	是川縄文館外観ほか	4	写真貸与・掲載	7/21	情報誌『Cool&Hot感謝状受賞施設特集号』
46	関朝日新聞出版	是川遺跡全景写真ほか	2	写真貸与・掲載	7/24	朝日ビジュアルシリーズ『日本の世界遺産』
47	関ユーキャン	風張1遺跡 合掌土偶	1	写真転載	7/27	『森浩一が語る日本の古代』DVD
48	阿智村縄文時代研究会	風張1遺跡 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	7/27	古代阿智村紹介パンフレット
49	コミュニティ放送局(関ビーエフエム)	是川縄文館館内	1	写真撮影・放送	8/8	番組『突撃! はちのへオジャマ隊』
50	岩手日報社	企画展示室	1	写真撮影・掲載	8/10	日刊紙掲載
51	関三沢奥入瀬観光	風張1遺跡 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	8/10	申請者主催ツアーのチラシほか
52	関学研パブリッシング	風張1遺跡 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	8/10	『月刊ムー10月号』
53	関アム・プロモーション	風張1遺跡 合掌土偶ほか	3	写真貸与・使用	8/10	ポストカード・クリアファイル制作
54	青森朝日放送(関八戸支社)	風張1遺跡 合掌土偶	1	テレビ撮影・放送	8/10	番組『はっけん八戸のチカラ』
55	MIHO MUSEUM	風張1遺跡 合掌土偶出土状況ほか	2	写真貸与・掲載	8/19	秋季特別展『土偶・コスモス展』館内制作ビデオ
56	一戸町教育委員会教育会	是川遺跡全景写真ほか	3	写真貸与・掲載	8/21	平成24年企画展『縄文時代の墓』
57	小規模多機能型居宅介護まべちの風	是川縄文館館内ほか	2	写真撮影・掲載	8/22	会報『まべち新聞』
58	関八戸テレビ放送	企画展示室	1	テレビ撮影・放送	8/24	ニュース番組
59	関ファイヤーステーション	風張1遺跡 合掌土偶ほか	2	写真貸与・掲載	8/25	『ふい〜らあ倶楽部9月号』
60	青森県県民生活生活文化課	是川中居遺跡 石器類ほか	31	写真貸与・掲載	8/30	『青森県史資料編考古2縄文後期・晩期』
61	八戸市立大館中学校	是川縄文館館内	1	写真撮影・掲載	9/6	グッジョブウィーク報告会用新聞
62	関新泉社	是川中居遺跡 壺形土器	1	写真貸与・掲載	9/6	井口直司編『縄文土器ガイドブック』
63	秋田県生涯学習課文化財保護室	是川中居遺跡 水さらし場遺構出土状況ほか	4	写真貸与・展示	9/10	世界遺産登録に向けた縄文遺跡群写真展
64	八戸市観光課	風張1遺跡 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	9/13	ブログ『たねプロ』
65	北海道文化・スポーツ課 縄文世界遺産推進室	一王寺(1)遺跡 捨て場遺物出土状況	1	写真貸与・展示	9/15	パネル展 『世界遺産をめざして-北の縄文-パネル展2012』
66	関創童舎	風張1遺跡 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	9/15	JR東日本青森支店発行
67	八戸商工会議所	風張1遺跡 合掌土偶ほか	2	写真貸与・掲載	10/2	平成24年度版『八戸観光カレンダー』6月面
68	関グランフォート	是川縄文館館内	1	写真撮影・掲載	10/10	青森県立八戸高等学校卒業アルバム制作
69	東奥日報社	是川中居遺跡 木胎漆器出土状況ほか	2	写真貸与・掲載	10/10	日刊紙掲載
70	デーリー東北新聞社	是川縄文館館内	1	写真撮影・掲載	10/13	日刊紙掲載
71	関オダプリント	是川縄文館外観ほか	22	写真貸与・掲載	10/13	青森県工業技術教育振興会会報
72	関紀行社	是川中居遺跡 籃胎漆器	1	写真貸与・掲載	10/13	角川学芸出版発行『漆工辞典』
73	コミュニティ放送局(関ビーエフエム)	企画展示室	1	写真撮影・放送	10/14	番組『突撃! はちのへオジャマ隊』
74	関創童舎	風張1遺跡 合掌土偶ほか	2	写真貸与・展示	10/17	青森県観光連盟主催パネル展
75	NPO法人三内丸山縄文発信の会	風張1遺跡 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	10/19	県教委主催『平成24年縄文語り部教室』広報チラシ
76	公立学校共済組合青森支部	一王寺(1)遺跡全景ほか	4	写真貸与・掲載	10/22	広報誌『福利あおり第138号』
77	関国際電気通信基礎技術研究所	風張1遺跡 合掌土偶	1	写真貸与・映写	10/22	HAI (Human-Agent Interaction) シンポジウム2012
78	東京書籍(関東北支社)	風張1遺跡 合掌土偶ほか	2	写真貸与・掲載	10/22	『小学校道徳6年生青森県版』
79	イワダテフォトスタジオ	是川縄文館館内ほか	2	写真撮影・掲載	10/23	八戸市立柏崎小学校卒業アルバム制作
80	青森県観光交流推進課	風張1遺跡 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	10/24	青函広域観光パンフレット
81	社団法人八戸建設業協会	風張1遺跡 合掌土偶ほか	2	写真貸与・使用	11/1	年賀状制作

番号	申請者	資料名	点数	利用方法	許可	掲載先
82	山形県立博物館	風張1遺跡 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	11/1	パンフレット『国宝 縄文の女神』
83	㈱雄山閣	是川中居遺跡 編布	1	写真撮影・掲載	11/6	尾関清子著『縄文の布-日本列島文化の起源と特質』
84	㈱新泉社	是川中居遺跡 壺形土器ほか	3	写真貸与・掲載	11/15	「遺跡を学ぶ」別冊3『縄文時代ガイドブック』
85	㈱新人物往来社	風張1遺跡 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	11/15	新人物文庫『青森県謎解き散歩』
86	㈱アドプリンター	風張1遺跡 合掌土偶	1	写真貸与・使用	11/15	年賀状見本制作
87	青森県観光交流推進課	是川縄文館外観	1	写真貸与・掲載	11/20	青函広域観光パンフレット
88	㈱新潮社新潮選書編集部	風張1遺跡 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	11/20	新潮選書『自己を生み出す皮膚(仮題)』
89	東奥日報社八戸支社	企画展示室	1	写真撮影・掲載	11/20	日刊紙掲載
90	鞍手町教育委員会	風張1遺跡 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	11/27	企画展『発掘で想像するビックリ縄文時代』
91	㈱平凡社	是川中居遺跡 赤漆塗り注口土器	3	写真撮影・掲載	11/27	小川忠博著『縄文ビジュアル百科』
92	NHK八戸支局	常設展示室ほか	2	テレビ撮影・放送	12/3	番組『あっぷるワイド』
93	八戸市観光課	風張1遺跡 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	12/7	八戸市観光PR用DVD
94	一戸町教育委員会教育会	是川中居遺跡 植物質遺物出土状況	1	写真貸与・展示	12/8	パネル展 『御所野遺跡と縄文遺跡群の世界遺産登録について』
95	デーリー東北新聞社	是川中居遺跡 漆塗り土器群ほか	6	写真貸与・掲載	12/12	新年号紙面掲載
96	地域ブランド推進委員会	常設展示室	1	テレビ撮影・放送	12/12	番組『必殺ミチカル』
97	八戸市住民税課	マスコットキャラクター いのるんほか	3	写真貸与・掲載	12/14	ふるさと寄付金PRポスター
98	クラブツーリズム㈱	風張1遺跡 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	12/18	旅行募集パンフレット『歴史への旅』
99	デーリー東北新聞社	常設展示室	1	写真撮影・掲載	12/18	新年号紙面掲載
100	㈱童心社	是川中居遺跡 ヤス出土状況ほか	10	写真貸与・掲載	12/20	小学校社会副読本『遺跡から調べよう!』
101	公益社団法人日本陶磁協会	風張1遺跡 合掌土偶	1	写真撮影・掲載	12/22	専門誌『陶説2月号』
102	全史協東北地区協議会事務局	是川遺跡全景写真	1	写真貸与・掲載	12/22	東北地区協議会HP
103	㈱青森テレビ	常設展示室ほか	2	テレビ撮影・放送	12/26	番組用世界遺産PR素材
104	読売新聞社弘前支局	是川中居遺跡 赤漆塗り櫛ほか	3	写真貸与・掲載	1/5	日刊紙掲載
105	㈱八戸テレビ放送	常設展示室	1	テレビ撮影・放送	1/10	番組放送
106	青森県企画調整課	是川中居遺跡 赤漆塗り櫛ほか	2	写真撮影・掲載	1/17	世界遺産登録に向けたプロモーション活動
107	青森県史跡整備市町村協議会	是川遺跡全景写真	1	写真貸与・掲載	1/18	史跡紹介ガイドマップ
108	徳島県立博物館	風張1遺跡 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	1/23	徳島新聞社記事『阿波のひとがた』
109	東コープ委員会	常設展示室	1	写真撮影・掲載	1/26	広報誌『はばたき5月号』
110	㈱第一学習社	風張1遺跡 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	1/29	高等学校用日本史教科書補助教材データDVD
111	青森県立郷土館	風張1遺跡 合掌土偶	1	写真撮影・掲載	1/29	『青森県立郷土館展示案内』・HPほか
112	豊島 むつみ	風張1遺跡 合掌土偶ほか	4	写真撮影・掲載	1/31	卒業制作用Webサイト
113	写真工房おすか	風張1遺跡 合掌土偶(背面)	1	写真貸与・使用	2/5	ポストカード制作
114	㈱小学館クリエイティブ	風張1遺跡 合掌土偶ほか	2	写真貸与・掲載	2/7	成美堂出版発行『一冊でわかるイラストでわかる図解古代史』
115	㈱ホルマン	常設展示室ほか	2	テレビ撮影・放送	2/8	BS日テレ番組『キズナのチカラ』
116	公益社団法人青森県観光連盟	常設展示室ほか	2	写真撮影・掲載	2/8	海外向けブログ
117	青森県県民生活文化課	風張1遺跡ほか	141	写真貸与・掲載	2/9	『青森県史資料編考古2縄文時代後期・晩期』
118	一般社団法人北海道開発技術センター	風張1遺跡 合掌土偶ほか	11	写真貸与・掲載	2/12	「是川縄文館バスバック」関連商品
119	青森県企画調整課	是川中居遺跡 籃胎漆器ほか	2	写真撮影・掲載	2/13	世界遺産登録に向けたリーフレット・HP
120	八戸市観光課	風張1遺跡 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	2/25	日本加除出版発行『住民行政の窓3月号』
121	㈱八戸テレビ放送	館内アトリウム	1	テレビ撮影・放送	2/28	番組『南部八戸匠と職人の技』
122	㈱創童舎	風張1遺跡 合掌土偶ほか	2	写真貸与・掲載	3/8	JR東日本盛岡支社発行パンフレット「駅から観タク」
123	㈱ポプラ社	風張1遺跡 合掌土偶ほか	3	写真転載	3/14	『歴史新聞第1巻』
124	八戸市社会教育課	是川遺跡空中撮影写真ほか	25	写真貸与・掲載	3/22	『はちのへ文化財ガイドブック改訂版』・市HP
125	福島市教育委員会	風張1遺跡 合掌土偶ほか	2	写真貸与・掲載	3/22	上岡遺跡説明板
126	㈱Z会	是川中居遺跡 遮光器土偶ほか	2	写真転載	3/29	通信教育用教材中学受験コース6月号社会
127	㈱レマン	風張1遺跡 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	3/29	JR東日本発行『トランヴェール2013年5月号』
128	レストハウスたねさし	風張1遺跡 合掌土偶	1	写真貸与・展示	3/29	店内展示
総 計						128件 454点

(2) 実物資料

平成24年度は、申請数8件、合計85点の貸し出し依頼があり、このうち、是川中居遺跡土坑墓から一括出土した玉類で61点を占めている。国宝の合掌土偶については、開館後、初めて原品を2箇所へ貸し出したほか、複製品の貸し出しも5箇所へのぼり、本資料の人気の高さを裏付ける結果となった。

平成24年度資料貸出一覧

No.	申請者名	資料名	貸出期間	利用先
1	北海道開拓記念館	風張1遺跡 合掌土偶(国宝)	H24.3.3~5.20	特別展『北の土偶－縄文の折りと心』
		風張1遺跡 合掌土偶(複製品)		
		風張1遺跡 類杖土偶(複製品)		
		是川中居遺跡 土偶2点(重要文化財1)		
2	岩手県立博物館	風張1遺跡 合掌土偶(複製品)	H24.6.26~8.31	第63回企画展『土偶まんだら』
3	八戸市博物館	風張1遺跡 合掌土偶(複製品)	H24.8.8~9.17	特別展『縄文人の一生』
		風張1遺跡 土偶(重要文化財)		
		風張1遺跡 香炉形土器		
		是川中居遺跡 石織のささった板(重要文化財)		
		重地遺跡 深鉢形土器		
		市子林遺跡 狩猟文土器		
縄文服(復元)2点				
4	花巻市博物館	風張1遺跡 合掌土偶(複製品)	H24.9.8~11.4	特別展『吉村作治の古代七つの文明展』
5	秋田県立博物館	風張1遺跡 合掌土偶(複製品)	H24.9.11~12.7	特別展 『アンダー×ワンダー!-北東北の考古学最前線-』
6	一戸町教育委員会	是川中居遺跡 玉類61点	H24.9.1~10.26	御所野縄文博物館企画展『縄文時代の墓』
7	MIHO MUSEUM	風張1遺跡 合掌土偶(国宝)	H24.11.5~12.13	特別展『土偶・コスモス展』
		是川中居遺跡 土偶(重要文化財)		
		是川中居遺跡 赤漆塗り注口土器(重要文化財)		
		是川中居遺跡 赤漆塗り壺形土器(重要文化財)		
8	國學院大學学術資料館	風張1遺跡 顔面裝飾付把手2点	H25.1.29~4.11	國學院大學伝統文化リサーチセンター 資料館企画展『身体に見立てられた土器』
		風張1遺跡 顔面裝飾付注口部		
		是川中居遺跡 顔面裝飾付把手		

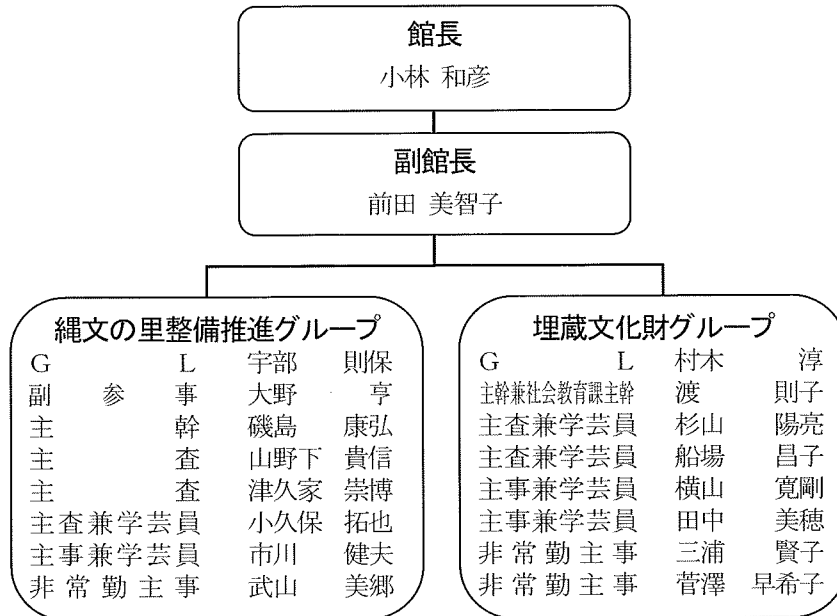
6. 予算概要

※予算は当初予算額。職員人件費は含まない。

予算内容	予算額 (円)	比率 (%)	備考
運営経費	100,436,000	85.09	
《内訳》 教育普及	7,888,000	6.68	
施設維持管理	61,380,000	52.00	
その他	31,168,000	26.41	
展示活動経費	17,595,000	14.91	
《内訳》 特別展経費	7,548,000	6.40	
企画展経費	10,047,000	8.51	
合計	118,031,000	100.00	

IV. 組織・関係団体

1. 組織及び職員構成



2. 八戸縄文保存協会

【設立年】平成7年 【会員数】146名（法人会員含む）

【目的・活動】

縄文文化の重要性を認識し、縄文遺跡及びその出土品の保存に協力するとともに、その活用を図り、もって地域文化・経済の振興に寄与することを目的に発足。当協会では、目的を達成するために次の事業を行う。

- ① 縄文文化についての研修
- ② 是川縄文館に関連する事業への協力
- ③ 縄文是川ボランティアへの支援
- ④ 縄文遺跡及びその出土品等の宣伝紹介
- ⑤ 文化財保護思想の啓蒙など

また、是川縄文館開館にあわせ、館内にミュージアムショップ、喫茶コーナー「これカフェ」を運営し、来館者の利便性向上を図っている。

さらに、毎年8月には「これかわ縄文まつり」を開催し、弓矢体験や縄文土器・土偶作り、火起こし等の縄文体験、各種ステージの企画・実施を通じ、縄文遺跡の普及を始め地域の活性化を図っている。平成24年8月19日（日）には17回目となるまつりを催し、約700人の来場者があった。

当協会は、「青森県の縄文遺跡群 世界遺産をめざす会」や「北の縄文文化回廊づくり推進協議会」に加盟し、縄文遺跡群の世界文化遺産登録推進に係る普及啓発を行っている。平成24年11月24日（土）には「世界遺産候補地の「貝塚」探訪」を催し、八戸市内の縄文遺跡の紹介とともに、世界文化遺産登録を目指す長七谷地貝塚や一王寺遺跡の理解普及に努め、参加者から好評を得た。



これかわ縄文まつりの様子



「貝塚」探訪の様子

3. 是川文化財愛護会

【設立年】昭和49年 【会員数】14人

【目的・活動】

是川遺跡とその出土品をはじめとする八戸市内の文化財の愛護事業に協力し、その活用を図り、地域文化の向上に資することを目的として発足した。

主な活動として、是川遺跡の紹介や環境整備・保全活動、及び文化財愛護思想の啓蒙等がある。特に環境整備・保全活動では、八戸市縄文学習館敷地内に平成6年(1994)に設置した復元竪穴住居の建築において大きな原動力となった。また、復元竪穴住居における燻し等の保守管理活動や、縄文時代に生育されていたと考えられる植物の植栽活動等を継続的に実施している。平成24年度には復元竪穴住居2棟のうち1棟の修繕を実施した(I-4-(6)-②参照)。

4. 是川縄文隊

【設立年】平成24年 【会員数】5人

【目的・活動】

是川地域住民の宝である是川縄文遺跡の保存・活用に寄与するとともに、是川縄文館を核とした「是川縄文の里」の地域振興を図ることを目的に発足。当団体では、①是川縄文館来館者への地域のPR、②是川縄文館来館者増につながる地域特性を活かした活動、③是川縄文遺跡の保存・活用・PRにつながる活動に関する事業を行う。

平成24年9月30日(日)及び10月21日(日)には川縄文館敷地内において、地域振興を図ることを目的に来館者へ周辺ガイドマップを配布したほか、是川産直野菜を販売するなど地域のPR活動を行った。

5. 縄文是川ボランティア

【設立年】平成8年 【会員数】57人

【目的・活動】

是川遺跡及びその出土品をはじめ縄文時代の調査・研究の成果を活用して、八戸市の縄文遺跡や縄文文化の素晴らしさを市民に伝え、八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館の教育普及活動を支援することを目的とする。当ボランティアではこうした目的のもと、下記の活動を行っている。

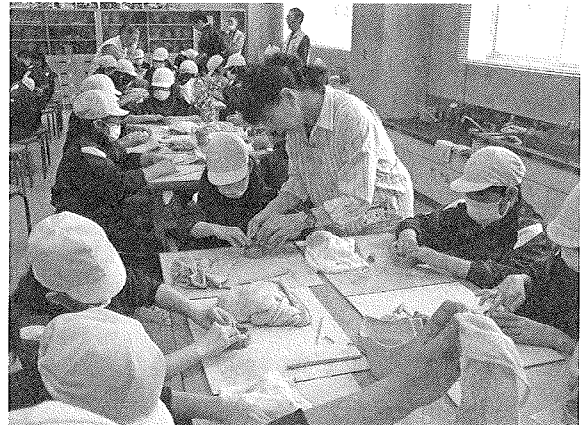
- ①日曜日縄文体験コーナー ②夏休み縄文体験コーナー
③冬季日曜日縄文体験コーナー ④土曜日体験教室

⑤夏休み考古学教室での体験学習の指導

⑥グループ・団体の体験学習の指導 ⑦縄文土器野焼き

⑧学校・公民館等での体験学習の指導 ⑨是川縄文館本館・分館の展示室や是川遺跡のガイド ⑩研究・研修・学習会

【活動実績】※体験学習指導の詳細については、I-4-(7)教育普及、III-2日記抄を参照されたい。



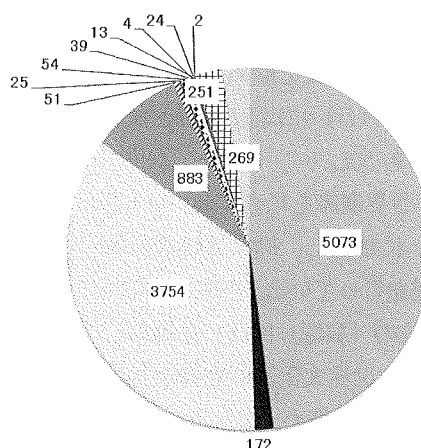
体験学習の様子

◆縄文是川ボランティア活動人数

月	開館日数	延人数	一日平均
4月	27日	289人	11人
5月	28日	272人	10人
6月	27日	276人	10人
7月	27日	318人	12人
8月	29日	290人	10人
9月	27日	211人	8人
10月	27日	281人	10人
11月	27日	264人	10人
12月	23日	162人	7人
1月	24日	188人	8人
2月	26日	205人	8人
3月	27日	195人	7人
計	319日	2,951人	9人

◆縄文是川ボランティア展示解説 地方別利用状況

※縄文是川ボランティアの聞き取りにより把握した利用者数



都道府県	人数
八戸市内	5,073
北海道	172
東北	3,754
関東	883
中部	51
北陸	25
東海	54
近畿	39
中国	4
四国	13
九州	24
沖縄	2
海外	251
不明	269
総計	10,614

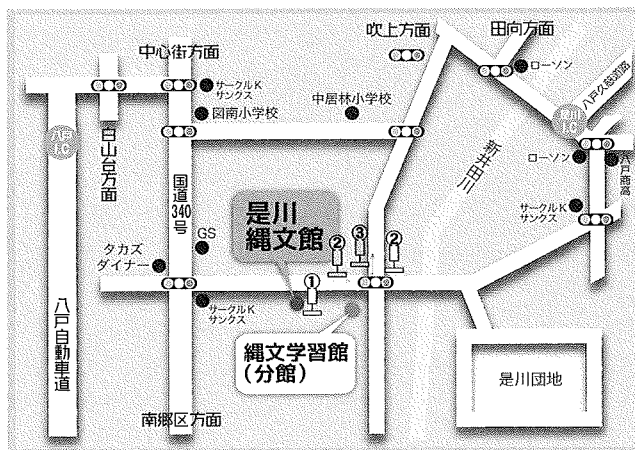
利用案内

- ◆開館時間 午前9時～午後5時
(入館は午後4時30分まで)
- ◆休館日 毎週月曜日
(祝日の場合はその翌日)
年末年始(12月27日～1月4日)

◆観覧料

区分	個人	団体
一般	250円	130円
大学生・高校生	150円	80円
中学生・小学生	50円	30円

市内の中学生・小学生は無料
市内65歳以上、障がい者手帳お持ちの方は半額
特別展は料金が異なります



- ◆交通 バス：・JR八戸駅から土日祝日のみ南部バスで22分
・ラピアバスターミナル・中心街から南部バス(J42, J45, J112)で20～30分
・中心街バスターミナル3(中央通)から南部バスるるっぷ(左回り)で10分
自動車：八戸自動車道・八戸ICから10分
- ◆駐車場案内 本館 普通車86台 大型バス6台 障がい者用3台
分館 普通車30台
- ◆所在地 本館 青森県八戸市大字是川字横山1 TEL: 0178-38-9511
分館 青森県八戸市大字是川字中居3-1 TEL: 0178-96-1484

八戸市埋蔵文化財センター 是川縄文館

年報

第2号—平成24年度—

発行日 : 2013年6月21日

編集・発行 : 八戸市教育委員会

八戸市埋蔵文化財センター 是川縄文館

〒031-0023 青森県八戸市大字是川字横山1

TEL 0178 (38) 9511 FAX 0178 (96) 5392

印刷 : みちのく印刷株式会社

〒031-0814 青森県八戸市大字妙字花生8-107

TEL 0178 (25) 2175 FAX 0178 (25) 6953

